

## 第7章 地域別構想

序. 地域区分

大河原町の地域区分は、旧大河原町の川西地区・川東地区と旧金ヶ瀬村の歴史的背景や地域の特性を勘案し、以下のように設定します。この地域区分に基づき地域別の概況と課題を整理し、地域別にまちづくりの方向性と目標像、整備方針を定めます。

図 7-1 地域区分図



1. 川西地区

(1) 地域の概要

川西地区は、本町の北東側に位置し、地域内には用途地域と白地地域があります。

地域内には、国道4号、県道亘理大河原川崎線が通り、町役場や宮城県大河原合同庁舎、みやぎ県南中核病院などが立地しています。

国道4号沿いには大型店舗が立地している一方、中町商店街では商店の減少や空き店舗・空地の増加が見られます。

1) 人口

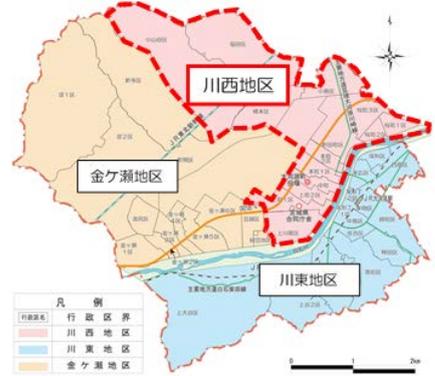
川西地区は、3つの地域区分の中で最も人口・世帯数が多い地区です。

表 7-1 人口・世帯数

行政区名	世帯数	人口
小山田	91	267
橋本	70	222
福田	53	139
小島	159	393
上川原	631	1,612
上町1	355	879
上町2	264	653
中町	180	435
本町1	206	569
本町2	181	460
新田町	581	1,507
桜町1	299	753
桜町2	189	527
桜町3	612	1,541
合計	3,871	9,957

平成27年1月1日住民基本台帳

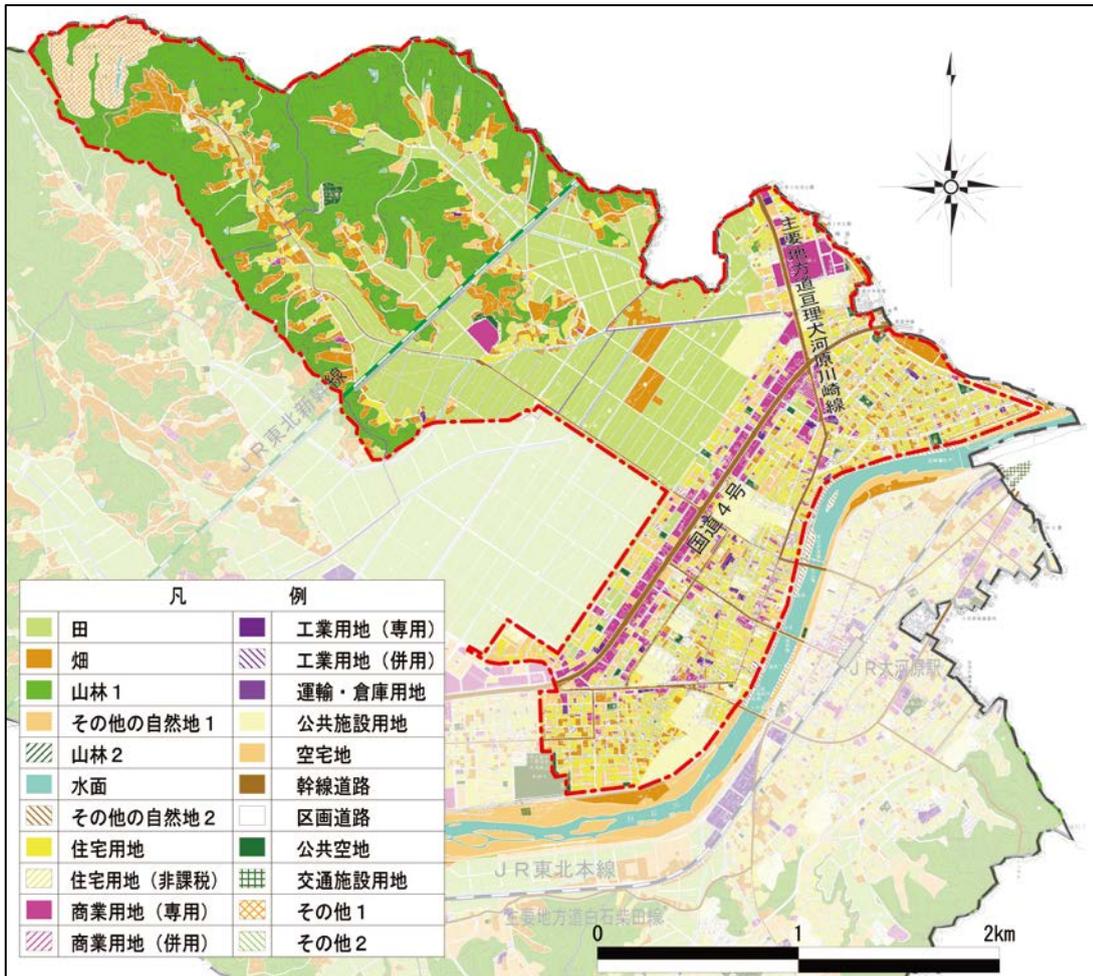
図 7-2 位置図



2) 土地利用

国道4号より東側は住宅用地が、北側は田畑や山林が多くなっています。また、国道4号沿いは商業用地が多く見られます。

図 7-3 土地利用現況図



出典：2010年度（平成22年度）県南部地区都市計画基礎調査（宮城県）

## 3) 住民意向

## ① 町民意向調査

町民意向調査から見た川西地区居住者の主な意見について下に示します。

表 7-2 町民意向調査の概要

項目	結果概要
主に行っている場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤、通学は3割強が町内となっている。</li> <li>・日用品の買い物は、6割以上が川西地区内に行っている。</li> <li>・洋服、家電、趣味等の買い物は、3割強が川西地区に行っており、半数以上が町内となっている。仙台市、名取市がそれぞれ2割程度となっている。</li> <li>・休日のレクリエーションは町内が1割強と少なくなっている。</li> <li>・病院・医療は川西地区が3割弱、川東地区が2割強となるなど町内が7割と多くを占める。</li> <li>・教育・文化活動、習い事などは、3割強が川西地区となるなど約半数が町内となっているが、仙台市が3割弱となるなど町外に行く人も多い。</li> </ul>
普段の移動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地に関らず、自動車による移動が大部分を占めている</li> </ul>
鉄道利用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道駅を利用する人のうち大部分がJR大河原駅を利用している。</li> <li>・駅までの交通手段は自動車が4割強と最も多く、次いで徒歩が3割弱となっている。</li> <li>・駅までの所要時間は10分以内が5割以上、20分以内が8割以上を占める。</li> </ul>
デマンド型乗合タクシーについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回以上利用する人は5%弱と非常に少ない。</li> </ul>
地域のまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅地周辺に対しては、医療・福祉施設、買い物環境充実、安全性向上、道路公園の維持管理・再整備、空き地・空き家の解消の順になっているが、回答数に大幅な差異は見られない。</li> </ul>
今後の商業地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道4号沿いでの商業機能充実を求める意見が4割弱と多く、次いで大河原駅前が3割弱となっている。</li> <li>・中央通り商店街の充実が2割弱に留まっている。</li> </ul>
今後の工業地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金ヶ瀬川根工業団地への企業誘致を求める意見が約半数と多い。</li> </ul>
今後の農地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無秩序な開発は避けるべきだが、計画的な開発などで減少することはやむを得ないとする意見が6割弱と大部分を占めた。</li> </ul>
今後の山林のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無秩序な開発は避けるべきだが、計画的な開発などで減少することはやむを得ないとする意見が4割弱を占めた。</li> <li>・遊歩道等レクリエーションの場の整備が2割強と一定数見られた。</li> </ul>
町の拠点（中心地）の場所と機能について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大河原町役場、商店街およびその周辺を町の拠点と考える人が4割弱ともっとも多く、次いで国道4号沿い（新南・新東周辺）が3割弱と、地区内で異なる考えが見られた。</li> <li>・拠点には、日常生活に必要な店舗・サービス機能の充実を求める人が4割強、医療・福祉施設が3割弱とこの2つを求める意見が多く、飲食店等や趣味・文化活動の場としてのニーズは低かった。</li> </ul>
今後の道路整備や管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難路整備を求める意見が最も多く、歩行者安全性、街路灯、生活道路再整備へのニーズが高かった。</li> <li>・幹線道路の充実や街並み景観に対するニーズは低かった。</li> </ul>
居住地近隣の公園について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規整備よりも維持管理の充実を求める意見が最も多く、次いで休憩施設のニーズが高かった。</li> <li>・遊具や植栽充実へのニーズはあまり高くなかった。</li> </ul>
大河原らしさを感じる景観について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葦神堰、一目千本桜を前景とした蔵王連峰への眺望を大河原らしい景観と考える人が8割以上と非常に多く、その他白石川に関連する景観を大河原らしいとする人が多かった。</li> </ul>

②住民ワークショップ

住民ワークショップでは、第1回ワークショップで住民の方々が考える川西地区の「魅力」と「課題」について話し合い、第2回ワークショップで魅力を活用し、課題を解決するための「必要な取り組み」について話し合いました。下に、WSの結果概要を示します。

住宅地としての環境が良く、買物や公共施設の利便性が良いという意見の一方で、大雨時の浸水に対する不安、商店街の衰退、自動車を使えなくなった後の購買に関する不安などの意見が多く見られました。

〈住環境・定住促進〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中町は公共機関が多いので便利</li> <li>・公共施設が全部そろっていて近いし便利で住みやすい</li> <li>・生活環境がコンパクトにまとまっている</li> <li>・仙台圏への通勤や買い物が容易である</li> <li>・文化施設、スポーツ施設が充実している</li> <li>・生活の近くにまだ自然環境が残っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯が少なく暗い</li> <li>・通学路の一部で草が伸びすぎ危険</li> <li>・免許証返納者の買い物・通院が心配</li> <li>・商店街の衰退により今後買い物難民が出かかない</li> <li>・商店街の道路が狭い</li> <li>・障がい者福祉を充実させてほしい</li> <li>・古い住宅団地で空き家も増えている</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○スプロール化の抑制・人口集約</li> <li>・居住エリアの集約</li> <li>○多様な世代の定住促進</li> <li>・空き家を定住促進に活用する</li> <li>・駅までのアクセスを高め移住者を増やす</li> <li>・移住者向けに家賃補助を行う</li> <li>・仙台圏のベッドタウン化を推進する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○便利がつまった住環境の維持・強化</li> <li>・大型店だけではない近隣商店街の復活</li> <li>・スリッパで行ける商店街の再生</li> <li>○静かで住みやすく便利な住環境の維持</li> <li>・歩道の街灯の整備</li> <li>・通学路の除草などの管理の適正化</li> <li>・障がい者福祉施設やバリアフリーの充実</li> </ul>

〈公園緑地〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大河原公園周辺に灯りがほしい / 大河原公園テニスコートの駐車場の柱が危ないので撤去してほしい</li> <li>・バスケットボールができる公園を増やしてほしい</li> <li>・子どもから高齢者まで過ごせる公園をつくってほしい</li> <li>・安心して遊べる水遊び場がない</li> <li>・河川敷のスポーツ施設は大雨が降ると使えなくなる</li> </ul>	
第2回WS結果(必要な取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○公園・緑地の利用促進</li> <li>・子供から高齢者まで多様な利用を踏まえた施設整備</li> <li>・管理面を考えた公園施設の整備</li> <li>・大雨時でも使えるスポーツ施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○河川敷の利用促進</li> <li>・安心して遊べる水遊び場の創出</li> <li>・川沿いの道や大河原公園周辺への街灯の設置</li> </ul>

## 〈交通・インフラ〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の課題	
<b>①道路</b> ・交通量の多い場所は横断歩道があってもなかなか横断できない。押しボタン式の信号機を増やしてほしい ・花見、花火大会時に車が渋滞し排ガスが出る ・白石川を挟んで交流できる道路がない	
<b>②排水</b> ・排水設備の老朽化により台風時の大雨により側溝があふれ、道路冠水発生している ・白石川と荒川の合流地点に集落が位置しており、両方の水位が上がると逆流し側溝の排水が悪くなっている ・堤防の強化が必要である	
<b>③街灯</b> ・裏通りの街灯が少なく暗いところがある	
<b>④交通</b> ・柴田町から村田町、フォルテの近道は交通量が多い ・電車の本数が少ない ・一時駐車場が駅東側にしかなく、車を停める時は東側からまわらなくてはならない	
第2回WS結果(必要な取組み)	
<b>○安心安全な社会インフラの整備</b> ・歩行者の安全性を踏まえた道路改良 ・小学校近くの農道の拡幅整備 ・雨水排水施設の近代化	・街路灯・防犯灯の適切な設置 ・デマンド型乗合タクシーの利便性向上に向け取り組み ・町民バスの運行

## 〈災害〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の課題	
・避難場所の大河原小学校が浸水地域になっている ・平坦な土地のため避難場所が少ない ・液状化が心配 ・冠水が心配(15mm/hでも浸水する) ・桜町1区14番地は大雨が降ると道路が冠水するため排水ポンプ設置をお願いしたい ・雨水側溝や雨水管の基準が昔のままで温暖化に対応していないため排水機能が弱い ・橋にカゲロウが大量発生する	
第2回WS結果(必要な取組み)	
<b>○災害に強いインフラ整備</b> ・水害に強いインフラの再構築	<b>○避難計画づくり</b> ・高齢者等の避難方法について地域協力を強化する ・迅速かつ確実な情報伝達方法の構築

## 〈景観・観光〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一目千本桜の素晴らしさを後世に残したい</li> <li>・蔵王山の雄大さと白石川の清流が素晴らしい</li> <li>・蔵王山と田んぼのコラボレーションは最高</li> <li>・桜まつり、花火大会、オータムフェスティバル、おぼん祭りなど四季を感じられる祭りがある</li> <li>・桜の風景をはじめ景色が良い。</li> <li>・田んぼの景色もきれい</li> <li>・山、川、林など手つかずの自然も大切にしてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白石川左岸の上町～新田町に昔の桜通りを復活したい</li> <li>・桜、新たに植えたところの知名度が低い</li> <li>・街路樹の一部がアメリカシロヒトリの被害にあっているため駆除を早めにしてほしい</li> <li>・桜の木の害虫がひどい</li> <li>・昔は白鳥がきていたが今は来なくなった</li> <li>・町の歴史は掘り起こせば数多くあるので町の歴史を後世に残すための仕組みが必要</li> <li>・町の歴史を町民にもっと知らせる努力をするべき</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<b>桜を観光や居住魅力向上に活かす！</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜景観に対する住民感情に配慮した施設等の整備</li> <li>・桜の適切な管理の実施</li> <li>・桜関連の行事・イベントの開催</li> <li>・河川西側にも散歩コースの整備</li> </ul>	<b>○桜以外の魅力発掘</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜に代わる象徴的花木の創出(マロニエなど)</li> <li>・地区の中でも古い街並みの保存と活用</li> </ul>

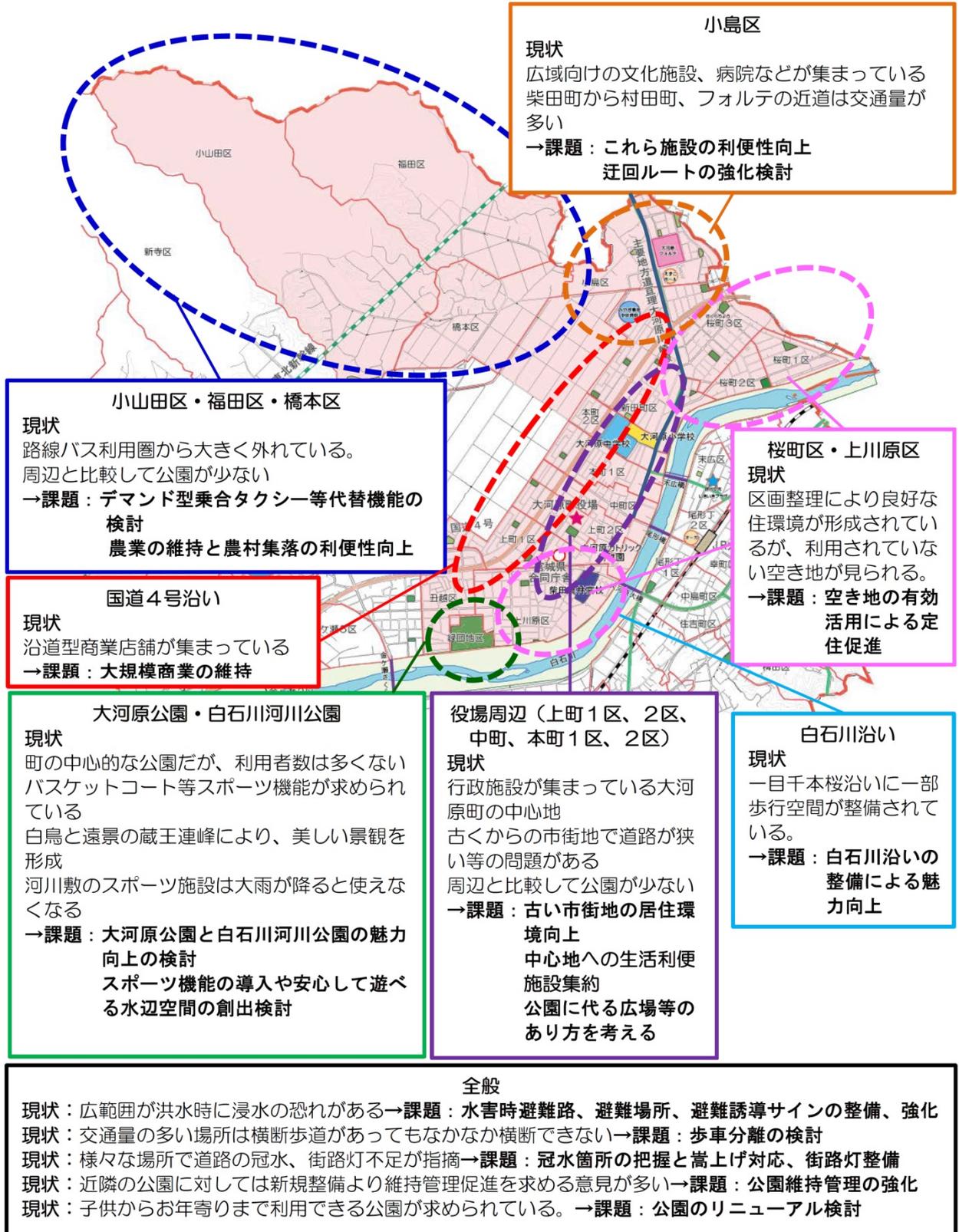
## 〈コミュニティ〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区で畑を耕し楽しく野菜を栽培している</li> <li>・連絡協議会組織が地域活動を担っている</li> <li>・見守り隊が防犯活動を担っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の高齢化、少子化が早いテンポで進んでいる</li> <li>・集会所がバリアフリーになっていない</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<b>○コミュニティ力を活かしたまちづくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動などコミュニティ形成活動の継続的实施</li> <li>・高齢者と若者がふれあう場の創出</li> </ul>	<b>○公民館・集会所の利用促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場整備など公民館の利便性向上</li> <li>・お茶会など集会所利用の一部無料化</li> <li>・高齢者が集まりやすい場の創出</li> </ul>

(2) まちづくりの課題整理図

地区の現況や住民意見を踏まえ、川西地区の現況とまちづくりの課題について、下図のとおり整理します。

図 7-4 まちづくりの課題図



### (3) 地域の目標像

#### 1) 地域の目標像の検討

川西地区の現況と課題、住民ワークショップの結果から、川西地区のまちづくりに必要な「キーワード」を抽出し、「地域の目標像」を検討しました。

##### 〈キーワード〉

コミュニティ活動	少子高齢化	国道4号沿いの大型商業店舗	既存商店街
公共施設	病院	公園の充実	一目千本桜

##### 〈地域の目標像〉

生活を支える多様な機能が集まり誰でも住みやすく、  
あらゆる世代や町内外の居住者が交流する  
便利・快適でにぎわいの中心となるまち

#### 2) まちづくりの目標

##### ①集約型都市（コンパクト＋ネットワーク）の中心を担う拠点づくりによる便利で快適な居住環境の維持・強化

- ・本町の中心であり、公共バス利用圏となっている町役場周辺に町民生活を支える都市機能を集約します。
- ・地区内での生活を支え、住む人々が支えあうコミュニティを育てる地域内生活拠点を形成します。

##### ②安全・安心で生活を楽しむことができる住環境づくり

- ・広範囲において洪水による浸水が想定されていることから、水害時避難場所、避難路、避難誘導施設（サイン等）の整備により、水害時避難の円滑化を図ります。
- ・住民より、古くからの市街地を中心に、道路が狭い、暗い、危ない、冠水する等について指摘されていることから、道路の拡幅、隅切確保、街路灯整備、歩道整備、冠水解消、路面表示整備等により生活道路の安全性を高めます。
- ・空き家の再利用や低・未利用地を活用し、居住魅力を高めます。
- ・都市公園、公共施設等への備蓄倉庫、防災トイレ等災害時に活用可能な施設の設置を進めます。
- ・コミュニティの活動を支える施設の維持や利便性・魅力向上について検討します。

##### ③仙南地域の交通・商圈の中心拠点と広域交通ネットワークづくり

- ・広域圏を対象とした公益的施設や公共施設が集まる小島地区において、各種施設の維持や交通利便性の向上を図ります。
- ・大規模商業店舗が集積する国道4号沿道への更なる商業機能の充実を図ります。
- ・バス利用圏に各種生活利便施設を誘導します。

##### ④雄大な白石川や旧奥州街道沿いに残る歴史的な資源を活かした居住魅力向上・観光交流に資する都市づくり

- ・白石川の河川空間や一目千本桜、広域的な景観の繋がりを活かしたレクリエーション空間の魅力向上による居住魅力向上・交流人口拡大、賑わい創出を図ります。
- ・旧奥州街道沿いの名残を伝える歴史的建造物等の歴史資源の有効活用と、街並み景観づくりによる交流人口拡大及び賑わい創出を図ります。

##### ⑤豊かな自然の恩恵を活かした都市づくり

- ・まとまった農地の維持や耕作放棄地の再利用推進による営農環境の保全を図ります。
- ・自然環境の保全を図ります。

##### ⑥情報共有・連携・役割分担の明確化による住民が主役のまちづくり

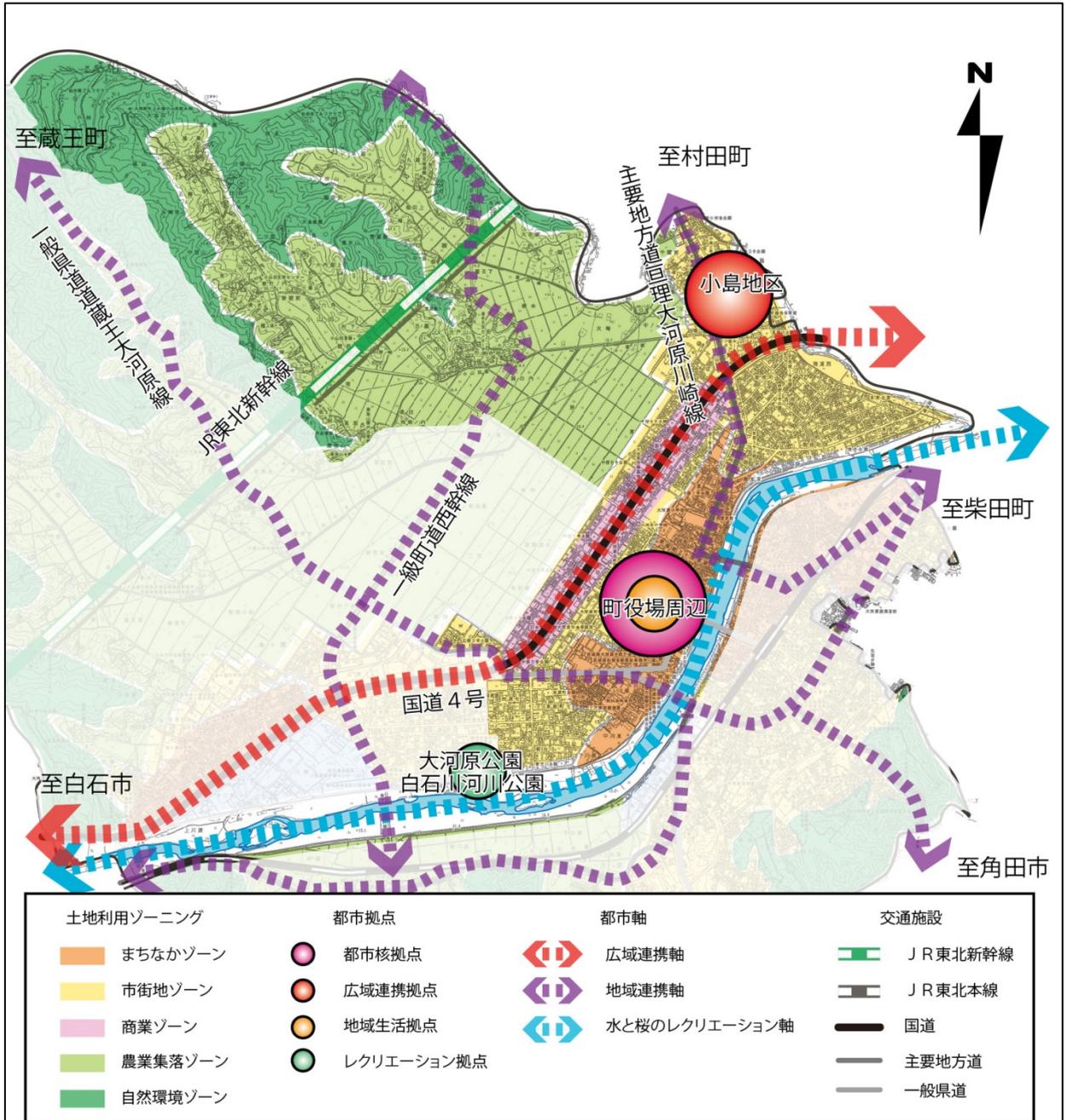
- ・計画段階からの住民参画推進や各種情報発信、勉強会開催によりまちづくりへの町民意識の向上を図ります。

## 3) 将来都市構造

表 7-3 川西地区の将来都市構造

〈土地利用ゾーニング〉	〈都市拠点〉
<p><b>①まちなかゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の用途地域内で、昭和30年以降に実施してきた土地区画整理事業によって整備されておらず、古くからの市街地を形成していた白石川・中央大通り商店街沿道を中心に、「まちなかゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 川西地区の中心部として、コンパクトでにぎわいがあり、公共交通を活用することで歩いて暮らせる市街地を形成します。</li> </ul>	<p><b>①都市核拠点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町役場や合同庁舎等の行政機能や福祉センター等の福祉機能が集積し、中心商店街等が立地していることに加え、町民意向調査の結果「まちの拠点」と思うとの回答が最も多かった町役場周辺を「都市核拠点」と位置づけます。</li> <li>・ 生活、行政、交流といった都市活動の中心となる機能を集約し、本町の中心市街地としての活性化を目指します。</li> </ul>
<p><b>②市街地ゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の用途地域内で、昭和30年以降に実施してきた土地区画整理事業によって整備された場所や山間部付近の市街地を「市街地ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 都市基盤の機能を高め、居住環境の充実を図ります。</li> </ul>	<p><b>②広域連携拠点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域圏を対象としたみやぎ県南中核病院やえぞこホール等の公共施設が立地している国道4号・主要地方道互理大河原川崎線の交通結節点を、「広域連携拠点」と位置づけます。</li> <li>・ 広域圏で見た観光、医療・福祉等の共同設置や維持・更新の連携を図ります。</li> </ul>
<p><b>③商業ゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道4号沿いの商業店舗が集積している場所を「商業ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 既存商業店舗を維持し、新たな店舗の充実を推進します。</li> </ul>	<p><b>③地域生活拠点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町役場周辺を、川西地区の日常生活を支える地域生活拠点として位置づけます。</li> <li>・ 地域に根ざした生活サービス機能や医療・福祉機能を集約するとともに、コミュニティ拠点としての活性化を目指します。</li> </ul>
<p><b>④農業集落ゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用途地域外の低地を中心に農的土地利用が図られている場所を「農業集落ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 営農環境や集落の住環境を保全し、調和のとれた田園景観を目指します。</li> </ul>	<p><b>④レクリエーション拠点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白石川沿いに位置する白石川河川公園、大河原公園および川前地区を「レクリエーション拠点」として位置づけます。</li> <li>・ 白石川河川公園、大河原公園については、既存の公園施設や植栽等の維持管理によりその魅力を保つとともに、魅力向上のための再整備を検討します。</li> </ul>
<p><b>⑤自然環境ゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用途地域外のうち、丘陵地を中心とした町外周を「自然環境ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 自然環境を保全するとともに、レクリエーション機能の強化を目指します。</li> </ul>	
<p><b>〈都市軸〉</b></p>	
<p><b>①広域連携軸</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東地方と東北地方を結ぶ国道4号を、「広域連携軸」として位置づけます。</li> <li>・ 既存道路や街路樹の適正な維持管理により、その機能を維持します。</li> </ul> <p><b>②地域連携軸</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本町を横断する白石川に跨り、本町と仙南地域の各市町を結ぶ、主要地方道蔵王大河原川崎線、一般県道大河原蔵王線、一級町道西幹線を「地域連携軸」として位置づけます。</li> <li>・ 既存道路や街路樹の適正な維持管理によりその機能を維持し、道路改良を促進することで、仙南広域圏における連携強化を目指すとともに、道路の必要性を再整理し、都市計画道路の見直しについて検討します。</li> </ul> <p><b>③水と桜のレクリエーション軸</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白石川を「水と桜のレクリエーション軸」として位置づけます。</li> <li>・ 歩行者路やサイクリングロードの整備や強化を図るとともに、河川と一目千本桜を活用した景観形成を図ることで、レクリエーション拠点の繋がりを強化し、本町を象徴する白石川の連続した景観の魅力を強化します。</li> </ul>	

図 7-5 将来都市構造図（川西地区）



## (4) 都市づくりの方針（地域別構想）

## 1) 土地利用の方針

課題や将来都市構造を踏まえ、土地利用の方針を整理します。

ゾーン・位置		土地利用配置方針
まちなかゾーン	都市核拠点 地域生活拠点 (町役場周辺)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本町全域の居住者を対象とした行政機能、医療・福祉施設、生活利便施設の集積を図るとともに、コミュニティ施設の機能強化を図ります。</li> <li>川西地区の居住者が利用する生活サービス機能やコミュニティ施設の機能強化を図ります。</li> <li>既存商店街に、国道4号沿いの大規模な商業店舗とは異なる魅力をもつ商業機能の誘致を目指します。</li> </ul>
	その他の場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>低・未利用地や空き家の活用により、定住人口確保の受け皿となる住宅用地を確保します。</li> </ul>
市街地ゾーン	広域連携拠点 (小島地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙南広域圏の情報を発信する文化機能や事務機能、大規模医療・福祉等の共同設置、維持・更新を図ります。</li> </ul>
	その他の市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>低・未利用地等の活用により、定住人口確保の受け皿となる住宅用地を確保します。</li> </ul>
商業ゾーン		<ul style="list-style-type: none"> <li>本町全域や仙南広域圏の自動車利用者を対象とした大規模な商業店舗の更なる立地を推進します。</li> </ul>
農業集落ゾーン		<ul style="list-style-type: none"> <li>農地集積による農業規模の拡大を推進します。</li> <li>農業集落の居住環境の維持・向上を図ります。</li> </ul>
自然環境ゾーン		<ul style="list-style-type: none"> <li>森林については、適切な保全を図ります。</li> </ul>
白石川	レクリエーション拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>白石川河川敷の公園において、既存のレクリエーション機能の維持・強化を図ります。</li> </ul>
	その他河川敷空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーション拠点間を繋ぐ歩行者・自転車の移動空間としての機能を高めます。</li> </ul>

## 2) 市街地整備および保全の方針

「まちなかゾーン」、「市街地ゾーン」および「農業集落ゾーン」の整備方針を整理します。

ゾーン・位置		市街地整備および保全の方針
まちなかゾーン	都市核拠点 地域生活拠点 (町役場周辺)	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の商店街では、道路空間の修景整備を行うとともに、低・未利用地のにぎわい空間としての活用を検討します。</li> <li>にぎわい交流施設の周辺においては、利用者がアクセスしやすいよう道路環境の向上や周辺における駐車場の整備を検討します。</li> <li>人々が集うにぎわい交流施設や集会所等のコミュニティ施設について、周辺環境のバリアフリーを図るなど高齢者や障がい者に優しいまちづくりを検討します。</li> </ul>
	ゾーン全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>狭隘道路の改良や街路灯の設置を推進し、日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保します。</li> <li>豪雨時に冠水する生活道路については、優先順位を定め冠水の解消に努めます。</li> </ul>
市街地ゾーン	広域連携拠点 (小島地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道4号および主要地方道互理大河原川崎線から各種施設へのアクセス性向上を図ります。</li> </ul>
	ゾーン全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>区画整理事業によって整備された住宅地や新興住宅地においては、整然とした住宅地環境維持のために、コミュニティによる植栽活動の促進を検討します。</li> </ul>
農業集落ゾーン	ゾーン全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>営農環境や自然環境との調和に配慮した集落環境の維持・整備を図ります。</li> <li>人口減少や高齢化の進展に配慮し、地域コミュニティの維持・向上に向けて集会所の適正な維持管理や周辺環境の整備を図ります。</li> </ul>

3) 交通施設の整備・保全および見直し方針

①主要幹線道路

- ・県内外または仙南広域圏を繋ぐ道路を「主要幹線道路」と位置づけます。
- ・概成済路線および未整備都市計画道路については、「都市計画道路見直しガイドライン（改定版）」に基づき、見直しについて検討します。

〈該当する路線〉

国道4号、主要地方道亙理大河原川崎線、一般県道蔵王大河原線、一般県道大河原高倉線（国道4号から大河原大橋までの区間）、一級町道西幹線

路線名称		道路の整備・保全および見直し方針	
広域連携軸	国道4号	・国道4号を「広域幹線軸」と位置づけ、県内外との円滑な連絡を確保するために、既存の交通機能を維持します。	
地域連携軸	主要地方道亙理大河原川崎線	（都）末広線として都市計画決定している区間	・宮城県や柴田町との連携を図りながら、沿道の土地利用を整理し、道路改良を実施可能な区間から段階的に概成済み都市計画道路の拡幅、末広橋の拡幅について検討します。 ・JR東北本線との交差部分における道路構造については、高架化した場合と現況の踏切道で交通ネットワーク配分結果に大きく差異はなく、多大な事業費を要し住宅が連続して立地しているため事業の実現性が低いことから、道路構造の見直しを検討します。また、これに伴いJR東北本線の交差箇所へのルートの変更への振り替えを含め幅広い検討を進めます。
		（都）本町大通り線として都市計画決定している区間	・沿道の土地利用を整理し、道路改良を実施可能な区間から段階的に道路改良を進めます。 ・商店街に隣接し、車両の停車が見込まれることから、駐車帯を確保します。
	一般県道蔵王大河原線	・既存の交通機能を維持するとともに、狭隘区間の拡幅整備を推進します。	
	一般県道大河原高倉線	・既存の交通機能を維持します。	
	一級町道西幹線	・既存の交通機能を維持します。	

②都市幹線道路

- ・主要幹線道路の機能を補完し、本町内または隣接する市町村までの円滑な移動を支える道路を「都市幹線道路」と位置づけます。

〈該当する路線〉

一般県道大河原停車場線

路線名称	道路の保全および見直し方針
一般県道大河原停車場線	・既存の交通機能を維持します。

③地域内幹線道路

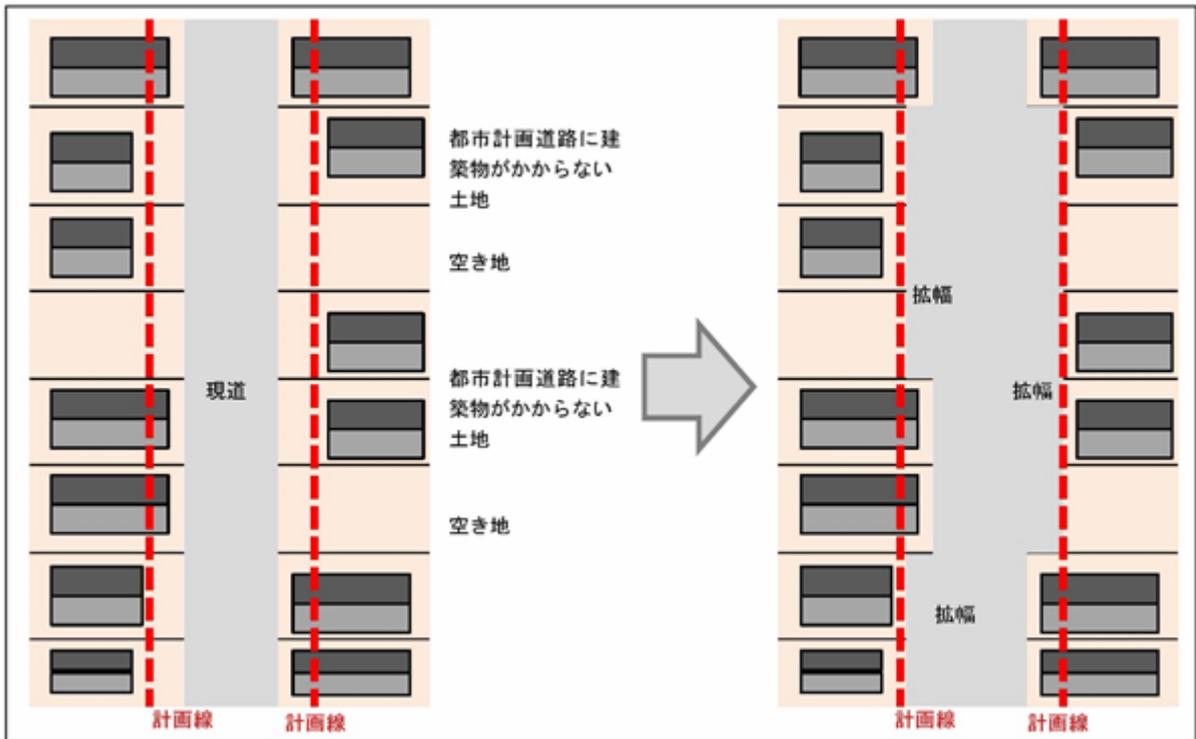
- ・都市幹線道路の機能を補完し、川西地区内の円滑な移動を支える道路を「地域内幹線道路」と位置づけます。
- ・概成済路線および未整備都市計画道路については、「都市計画道路見直しガイドライン（改定版）」に基づき、都市計画道路の廃止も含めた見直しについて検討します。

〈該当する路線〉

（都）中部幹線、（都）東上線、（都）本町大通り線（主要地方道亙理大河原川崎線との重複区間は除く）

路線名称	道路の保全および見直し方針
(都) 中部幹線	・既存の交通機能を維持します。
(都) 東上線	・既存の交通機能を維持します。
(都) 本町大通り線	・沿道の土地利用を整理し、道路改良を実施可能な区間から段階的に道路改良を進めます。 ・商店街に隣接し、車両の停車が見込まれることから、停車帯を確保します。

図 7-6 都) 末広線、(都) 本町大通り線の段階的な道路改良のイメージ



④生活道路

- ・まちなかゾーン、市街地ゾーン、農業集落ゾーンにおいて、生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備、降雨時冠水区間等の道路改良を推進し、日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保します。
- ・駅までのアクセス性を高めるため、(都) 大河原駅前大通り線に接続する道路については優先的な整備を検討します。

路線名称	道路の整備・保全および見直し方針
(都) 西浦通線	・概成済み都市計画道路だが、交通量は少ないこと、沿道に住宅が連続して立地しており事業の実現性が低いこと、土地区画整理事業により代替ルートが確保されたことから都市計画道路の廃止を含めた見直しを検討します。 ・本ルートにおいて、道路幅員の狭い区間や隅切が不足している区間については、課題箇所を整理し道路改良について検討します。

〈バス交通〉

- ・関係機関と連携し、大河原駅を中心とした路線バスルートを維持します。
- ・路線バス利用圏から大きく離れている小山田区・福田区・橋本区の居住者に対する交通を補助する機能として、既存のデマンド型乗合タクシーの機能強化について検討します。

#### 4) 公園緑地等の整備方針

##### ①都市公園

- ・公園が少ない町役場周辺や小山田区・福田区・橋本区を中心に、空き地を活用した公共空地の確保を検討します。また、住民意向を踏まえた整備と適正な維持管理を図ります。
- ・市街地の状況を考慮し、都市計画公園の見直しを検討します。
- ・白石川河川公園については、住民意向調査結果に留意し、河川管理者との協議を行いながら機能強化と適正な維持管理を図ります。また、親水空間の強化を検討します。

##### ②白石川河川敷の有効活用

- ・河川堤防天端や河川敷空間を活用したサイクリングロード等の整備を検討します。

#### 5) 景観形成の方針

- ・全体構想および住民意向を踏まえ、景観形成の方針を整理します。
- ・住民意向では、白石川や一目千本桜、それを前景とした蔵王への眺望を大河原らしい景観として捉えていることがわかります。また、蔵王と田園による景観にも魅力を感じていることが分かります。
- ・同時に、大河原町の歴史を活用したまちづくりについても指摘されており、旧奥州街道沿いの古くからの街並みの保全も求められます。

##### ①蔵王連峰を背景にした景観の保全

- ・本町の至るところから見ることができる蔵王連峰は、河川景観や市街地景観、田園景観と一体となり美しい景観を創り出しています。蔵王連峰への眺望景観を確保するために、建築物の高さは眺望を阻害しないよう配慮するとともに、街路樹についても視線を阻害しないよう適正な維持管理を推進します。

##### ②河川景観

- ・白石川の水面と一目千本桜が一体となった河川景観は、本町のシンボルとして、広く町民にも愛されています。この景観を維持し、その魅力を高めるために、河川空間の適正な維持管理を推進するとともに、特に魅力的な場所については景観整備を行います。

##### ③歴史的景観

- ・旧奥州街道は、町の歴史を今に伝える重要な景観資源です。旧奥州街道が横断するまちなかゾーンにおいては、道路舗装や道路構造物等の改修にあたってはその歴史に配慮した景観整備を行うとともに、沿道建築物については景観に配慮したルール設定を検討します。



川西地区  
地域別構想図





2. 川東地区

(1) 地域の概要

川東地区は、本町の側に位置し、地域内には用途地域と白地地域があります。

地域内にはJR大河原駅があり、県道白石柴田線が通ります。また、駅前の複合施設「オーガ」には図書館などが入っています。

JR大河原駅へのアクセスが良い一方、国道4号沿いに比べて駅前の商業店舗が少ない状況です。

表 7-4 人口・世帯数

行政区名	世帯数	人口
尾形丁1	115	277
尾形丁2	105	271
末広	255	606
保料	208	512
西原	470	1,163
幸町	236	511
中島	159	379
錦町	334	832
住吉町	192	454
禰田	399	935
原前	313	767
南原前	169	430
上谷1	334	773
上谷2	125	293
上谷3	357	932
上大谷	62	191
合計	3,833	9,326

図 7-7 位置図



平成27年1月1日住民基本台帳

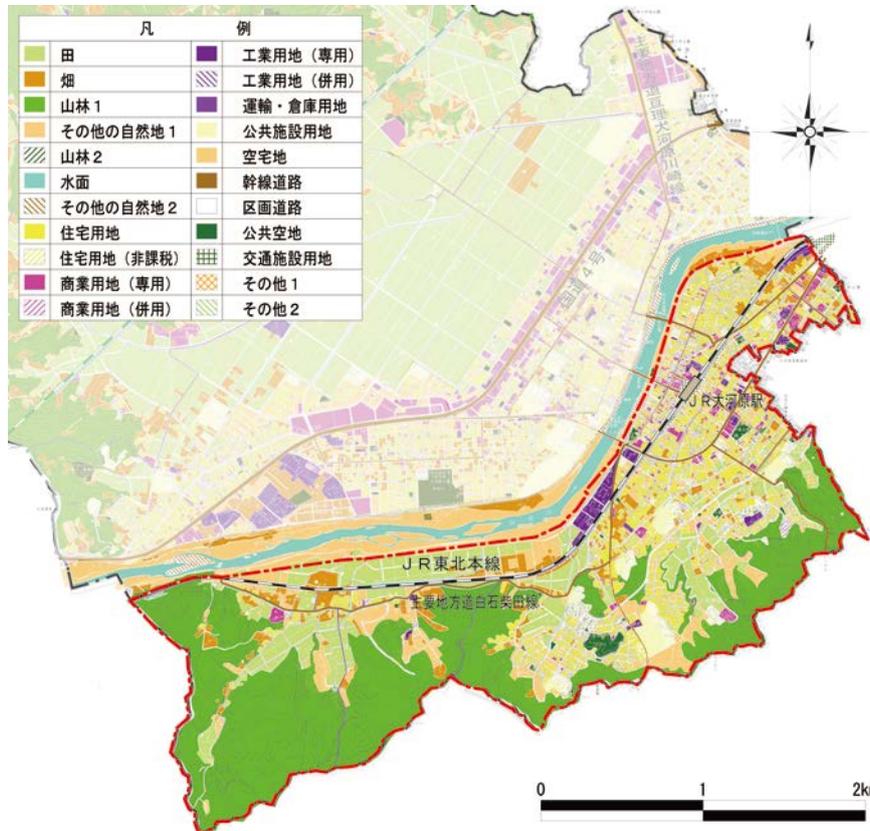
1) 人口

川東地区は、3つの地域区分の中で二番目に人口・世帯数が多い地区です。

2) 土地利用

駅前を中心に住宅用地が多く、南西側は山林が多くなっています。商業店舗は、駅前を中心に分布しています。JR東北本線と白石側の間には、工業用地（中の倉工業団地）があります。

図 7-8 土地利用現況図



出典：2010年度（平成22年度）県南部地区都市計画基礎調査（宮城県）

## 3) 住民意向

## ① 町民意向調査

町民意向調査から見た川東地区居住者の主な意見について下に示します。

表 7-5 町民意向調査の概要

項目	結果概要
主に行っている場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤、通学は2割強が町内となり、町外が多い。</li> <li>・日用品の買い物は、地区内（2割強）よりも川西地区（4割弱）が多くなっている。</li> <li>・洋服、家電、趣味等の買い物は、半数以上が町内となっているが3割強が川西地区に行っており、地区内は1割に満たない。仙台市、名取市がそれぞれ2割前後となっている。</li> <li>・休日のレクリエーションは町内が1割強と少なくなっている。</li> <li>・病院・医療は川西地区が3割弱、川東地区が1割強となるなど町内が7割と多くを占める。</li> <li>・教育・文化活動、習い事などは、町内が7割と多くを占めるが3割弱が川西地区、地区内は1割強に留まる。</li> </ul>
普段の移動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地に関らず、自動車による移動が大部分を占めている</li> </ul>
鉄道利用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道駅を利用する人のうち大部分がJR大河原駅を利用している。</li> <li>・駅までの交通手段は徒歩が7割強と大部分を占める。</li> <li>・駅までの所要時間は10分以内が7割以上、20分以内が9割以上を占める。</li> </ul>
デマンド型乗合タクシーについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回以上利用する人は5%弱と非常に少ない。</li> </ul>
地域のまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅地周辺に対しては、医療・福祉施設、買い物環境充実、安全性向上、道路公園の維持管理・再整備、空き地・空き家の解消の順になっているが、回答数に大幅な差異は見られない。</li> </ul>
今後の商業地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大河原駅前での商業機能充実を求める意見が6割弱と多く、次いで国道4号沿いが2割強となっている。</li> </ul>
今後の工業地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金ヶ瀬川根工業団地への企業誘致を求める意見が約半数と多い。</li> </ul>
今後の農地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無秩序な開発は避けるべきだが、計画的な開発などで減少することはやむを得ないとする意見が6割弱と大部分を占めた。</li> </ul>
今後の山林のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無秩序な開発は避けるべきだが、計画的な開発などで減少することはやむを得ないとする意見が4割弱を占めた。</li> <li>・遊歩道等レクリエーションの場の整備が2割強と一定数見られた。</li> </ul>
町の拠点（中心地）の場所と機能について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大河原町役場、商店街およびその周辺と大河原駅前が3割強と多く、地区内で異なる考えを持つことがわかる。</li> <li>・拠点には、日常生活に必要な店舗・サービス機能の充実を求める人が4割強、医療・福祉施設が2割強とこの2つを求める意見が多く、飲食店等や趣味・文化活動の場としてのニーズは低かった。</li> </ul>
今後の道路整備や管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難路整備を求める意見が最も多く、歩行者安全性、街路灯、生活道路再整備へのニーズが高かった。</li> <li>・幹線道路の充実や街並み景観に対するニーズは低かった。</li> </ul>
居住地近隣の公園について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規整備よりも維持管理の充実を求める意見が最も多く、次いで休憩施設のニーズが高かった。</li> <li>・遊具や植栽充実へのニーズはあまり高くなかった。</li> </ul>
大河原らしさを感じる景観について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葦神堰、一目千本桜を前景とした蔵王連峰への眺望を大河原らしい景観と考える人が8割以上と非常に多く、その他白石川に関連する景観を大河原らしいとする人が多かった。</li> </ul>

②住民ワークショップ

駅へのアクセスが良く住みやすいという意見がある一方で、駅前のお店が少なく買物が不便、道路が狭く歩きづらい、車でのすれ違いが危険という意見が多く見られました。

〈住環境・定住促進〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地と住宅地が良くマッチしている</li> <li>・桜が続いている閑静で美しい住宅地</li> <li>・徒歩でも集会所等に集まり易い</li> <li>・仙台のベッドタウンとして良い</li> <li>・スーパーや郵便局もあり住みやすい</li> <li>・区内に学校、税務署、いきいきプラザ(児童館) 2つの銀行、保育所、歯科、内科等があり利便性が高い</li> <li>・空き家もあり川東地区の家賃が比較的安い</li> <li>・新しい住民で活気づいている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店が少なく高齢者は買い物することが大変</li> <li>・駅の近くにもお店がほしい</li> <li>・オーガにもにぎわいがほしい</li> <li>・駅裏に不審者が多い(昼夜・年齢関係なく)</li> <li>・商店街に駐車場ないから貸店舗が使いつらい</li> <li>・貸店舗の坪単価高く、空き店舗ない</li> <li>・空き家がそのままに放置され壊れかけている家もある</li> <li>・地域密着なだけに移住者が入りづらい環境</li> <li>・空き家が増えている</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<p>○子育て環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で子育てする環境を充実させていく</li> <li>・安心して子育てできるための教育施設の充実</li> </ul> <p>○静かで住みやすく便利な住環境の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前パーク&amp;ライドでベッドタウン化の推進</li> <li>・駅周辺のにぎわい創出</li> <li>・シニア層の健康維持のためのウォーキング道の整備</li> <li>・買い物利便性の維持</li> <li>・放置空き家の速やかな除却</li> </ul>	<p>○多様な世代の定住促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く場の確保</li> <li>・賃料が安く質の高い住環境をアピール！</li> <li>・若者向けのイベントで若い世代を呼ぶ！</li> <li>・教育・保育環境や公園のアピールにより子育て世代を呼ぶ！</li> <li>・医療環境のアピールやウォーキング道の整備によりシニア世代を呼ぶ！</li> <li>・空き家を活用したリノベや暮らし体験ツアーの実施</li> <li>・地域全体での移住者支援</li> </ul>

〈公園・緑地〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきプラザの近くに公園がある</li> <li>・広いグラウンドのある中島公園がある</li> <li>・不動公園の自然と昆虫公園が魅力的</li> <li>・地区で環境整備をしている(ゴミひろい、あいさつ等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路灯の整備が必要(公園内・一目千本桜)</li> <li>・中島公園の集会所が古い</li> <li>・見城前公園の樹木が生い茂っているため大木を伐採して花などを植えてほしい</li> <li>・遊具の点検、塗装、砂の交換など定期的にやってほしい</li> <li>・総合運動場が少ない/南小周辺、原前に公園が少ない</li> <li>・全体的に遊具が少なく古い</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<p>○公園・緑地の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用を促すための街路灯の整備</li> <li>・施設・遊具・樹木などの適切な維持管理を行う</li> </ul>	<p>○河川敷を観光や居住魅力向上に活かす！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白石川を活かした魅力づくり</li> <li>・河川敷の新たな利用方法の発掘</li> </ul>

〈交通・インフラ〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の課題	
<p><b>①道路</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が狭い(4m以下・歩道がなく危険・消防車が入ってこられない・狭いカーブですれ違えない)</li> <li>・亘理・大河原川崎線に歩道がなく危険</li> <li>・上大谷の道路が危険なため車で通学している</li> <li>・交差点危険(大河原橋のたもとの交差点に横断歩道がないので柴農生が危ない)</li> <li>・通勤時大河原橋に駅から入る場所の信号は、学生の通学で車が横切れない</li> <li>・金ヶ瀬さくら大橋に上谷から入る場所に信号がない</li> <li>・角田に抜ける道は広いが朝夕は車多い</li> <li>・踏切が危険(歩行者、自転車の専用レーンが必要)</li> <li>・袋小路が残っている</li> <li>・学区を越えて国道4号の向こうに遊びにいけない(若)</li> <li>・花見時、路地に入り込み身動き出来ない車があるので狭い路地等に標示が臨時的にあると良い</li> </ul>	<p><b>②排水</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・側溝の掃除ができない(ふたのあるところ)全体</li> <li>・側溝の整備が不十分</li> <li>・地震の影響からかマンホールの蓋がコンクリート道路より上にはみ出ている</li> <li>・側溝の底が土のまま、蓋のないところがある</li> <li>・側溝の幅、深さがまちまちであり、役目を果たしていない</li> </ul> <p><b>③街灯</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯が少なすぎる。子どもたちの下校時、暗すぎて見えない箇所がある</li> <li>・土手沿いの街灯が少ない</li> </ul> <p><b>④交通</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の便が悪い(マイカーを持っていない高齢者が不便)</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<p><b>○安心安全な社会インフラの整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の安全性の確保(狭小道路の拡幅)</li> <li>・急傾斜地の大雨時の対策</li> <li>・道路と側溝の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原前での土地区画整理の実施</li> <li>・歩道空間の充実/街路灯・防犯灯の整備</li> <li>・デマンド型乗合タクシーの増便</li> </ul>

〈景観・観光〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜がきれい(後世にも残したい)</li> <li>・里山の景観が残っており心和む</li> <li>・四季を味わいながら桜土手をウォーキングすることができる</li> <li>・遠方に蔵王連峰、そして区内西側に白石川と桜土手があり景観が良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花見の時期以外の特色がない</li> <li>・住宅地内の景観が極めて悪い</li> <li>・田んぼの有効活用が図られていない</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<p><b>○田園風景や桜を観光や居住魅力向上に活かす!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観を活かしたまちづくりの推進</li> <li>・里山の景色を眺めることのできる散歩コース・展望台の整備</li> <li>・上大谷区の農村風景の保全・活用</li> <li>・遊休農地を活用した市民農園の整備</li> <li>・適切な管理による桜並木の維持</li> </ul> <p><b>○桜以外の魅力発掘</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜シーズン以外の魅力づくり</li> </ul>	<p><b>○滞在型観光の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家体験の推進</li> <li>・民泊の推進</li> </ul> <p><b>○観光業の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品等を活かした商品開発</li> <li>・観光案内所の機能の充実</li> <li>・積極的な情報発信</li> </ul>

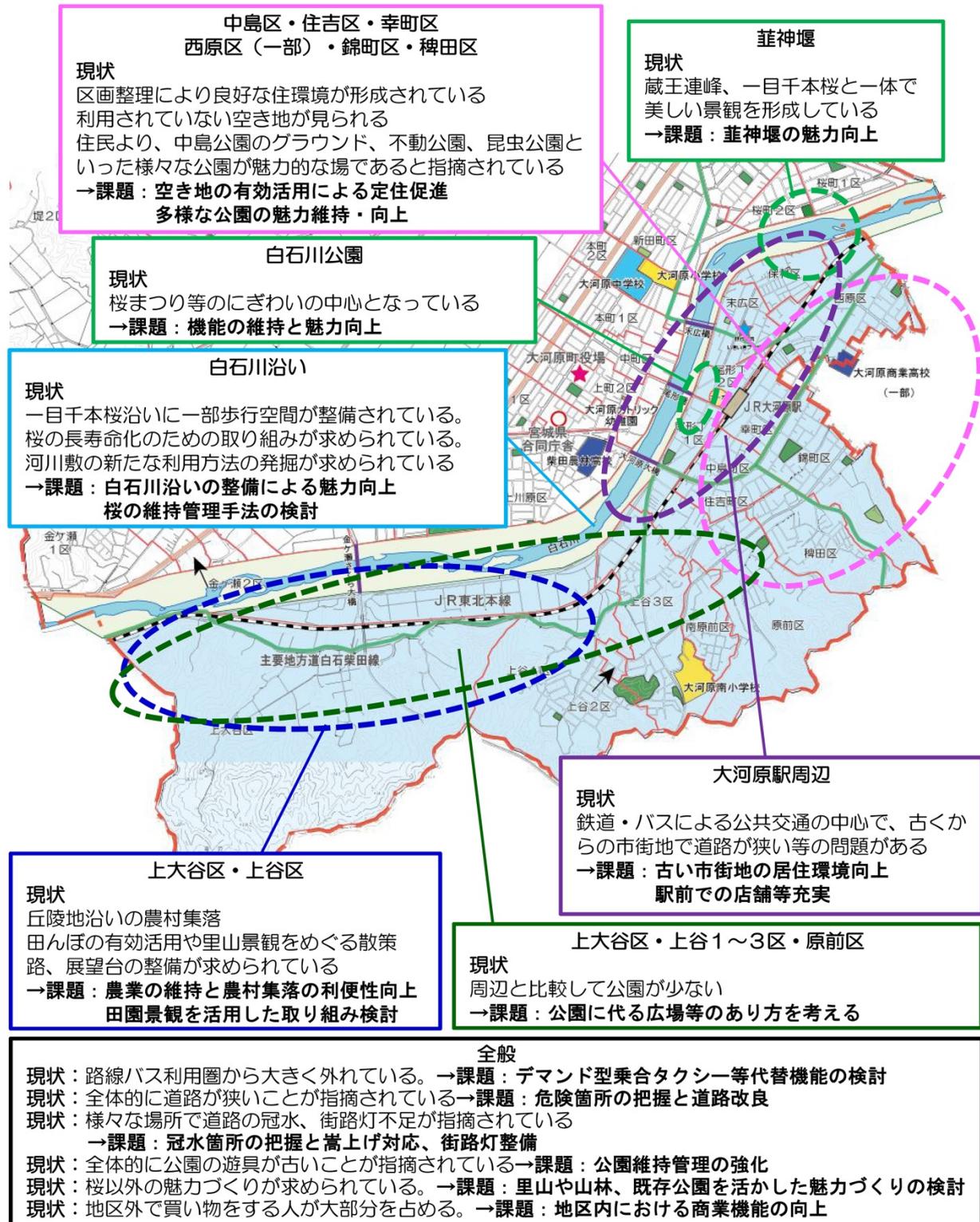
## 〈コミュニティ〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の参加意欲が高い</li> <li>・後期高齢者の方々がたいへん元気が良い</li> <li>・地域のまとまりがある</li> <li>・互いにあいさつを交わし合う</li> <li>・地区の行事が多く仲の良い関係を築いている</li> <li>・子ども会の行事が盛ん</li> <li>・川東は子どもが多く友達の輪が広がる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合住宅が増加してきて近所付き合いが減ってきている</li> <li>・最近アパートが増え前から住む人たちからの会費の納入やゴミ捨て方法等についての苦情がある</li> <li>・地区の行事に若い世代の参加が少ない</li> <li>・少子化で子ども会活動が難しくなりつつある</li> <li>・高齢化に伴い集会所の駐車場設置の要望が多い</li> <li>・集会所内のトイレに段差があり危険である</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティ力を活かしたまちづくり</li> <li>・高齢者が集まりやすい居場所づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族で居住できる住環境の確保</li> <li>・若い世代とのコミュニティ形成</li> </ul>

(2) まちづくりの課題整理図

川東地区の現状とまちづくりの課題について、下図のとおり整理しました。

図7-9まちづくりの課題図



### (3) 地域の目標像

#### 1) 地域の目標像

川東地区の現況と課題、住民ワークショップの結果から、川東地区のまちづくりに必要な「キーワード」を抽出し、「地域の目標像」を検討しました。

#### 〈キーワード〉

大河原駅 空き家 子育てしやすい 公園が多い アパートが多い 元気な高齢者  
コミュニティ活動 狭隘道路 街灯が少ない 一目千本桜 葦神堰 川前地区

#### 〈地域の目標像〉

**住む人々が互いに交流し助け合い、  
白石川や山・田園ののどかな風景が居住魅力を高める  
穏やかで温もりのあるまち**

#### 2) まちづくりの目標

##### ①集約型都市（コンパクト＋ネットワーク）の核となるにぎわいのある駅前環境づくり

- ・公共交通の要衝であるJR大河原駅前周辺に、駅利用者や川東地区居住者が利用する商業機能を誘導します。また、川東地区内での生活を支え、コミュニティを育てる地域内生活拠点的形成します。
- ・低・未利用地や空き家を活用した定住促進を図ることで市街地の拡大を抑制し効率的な土地利用を図ります。
- ・デマンド型乗合タクシーの強化やコミュニティバス等の導入検討等、不足する公共交通の利便性を高めます。

##### ②安全・安心で生活を楽しむことができる住環境づくり

- ・水害時避難場所、避難路、避難誘導施設（サイン等）の整備による水害時避難の円滑化を図ります。
- ・災害時に代替ルートとなる道路整備を検討し、幹線道路の強靱化を図ります。
- ・道路の拡幅、隅切確保、街路灯整備、歩道整備、路面表示整備等により生活道路の安全性を高めます。
- ・空き家の再利用や低・未利用地を活用し、居住魅力を高めます。
- ・都市公園、公共施設等への備蓄倉庫、防災トイレ等災害時に活用可能な施設の設置を進めます。
- ・コミュニティの活動を支える施設の維持や利便性・魅力向上について検討します。

##### ③仙南地域の交通・商圈の中心拠点づくり

- ・仙南地域の交通の要衝である大河原駅前に各種生活利便施設を誘導します。

##### ④雄大な白石川を活かした居住魅力向上・観光交流に資する都市づくり

- ・白石川の河川敷や一目千本桜、広域的な景観の繋がりを活かしたレクリエーション空間の魅力向上による居住魅力向上・交流人口拡大、賑わい創出を図ります。
- ・レクリエーション空間となりえる広い河川敷空間や景観的な魅力に優れた河川敷空間を整備し魅力を高めることで、多様な河川敷利用を実現し居住魅力を高めます。
- ・上大谷地区の農地や里山景観を活かした空間づくりを検討します。

##### ⑤豊かな自然の恩恵を活かした都市づくり

- ・まとまった農地の維持や耕作放棄地の再利用推進による営農環境の保全を図ります。
- ・自然環境の保全を図ります。
- ・美しい里山景観を活用したレクリエーション機能について検討します。

##### ⑥情報共有・連携・役割分担の明確化による住民が主役のまちづくり

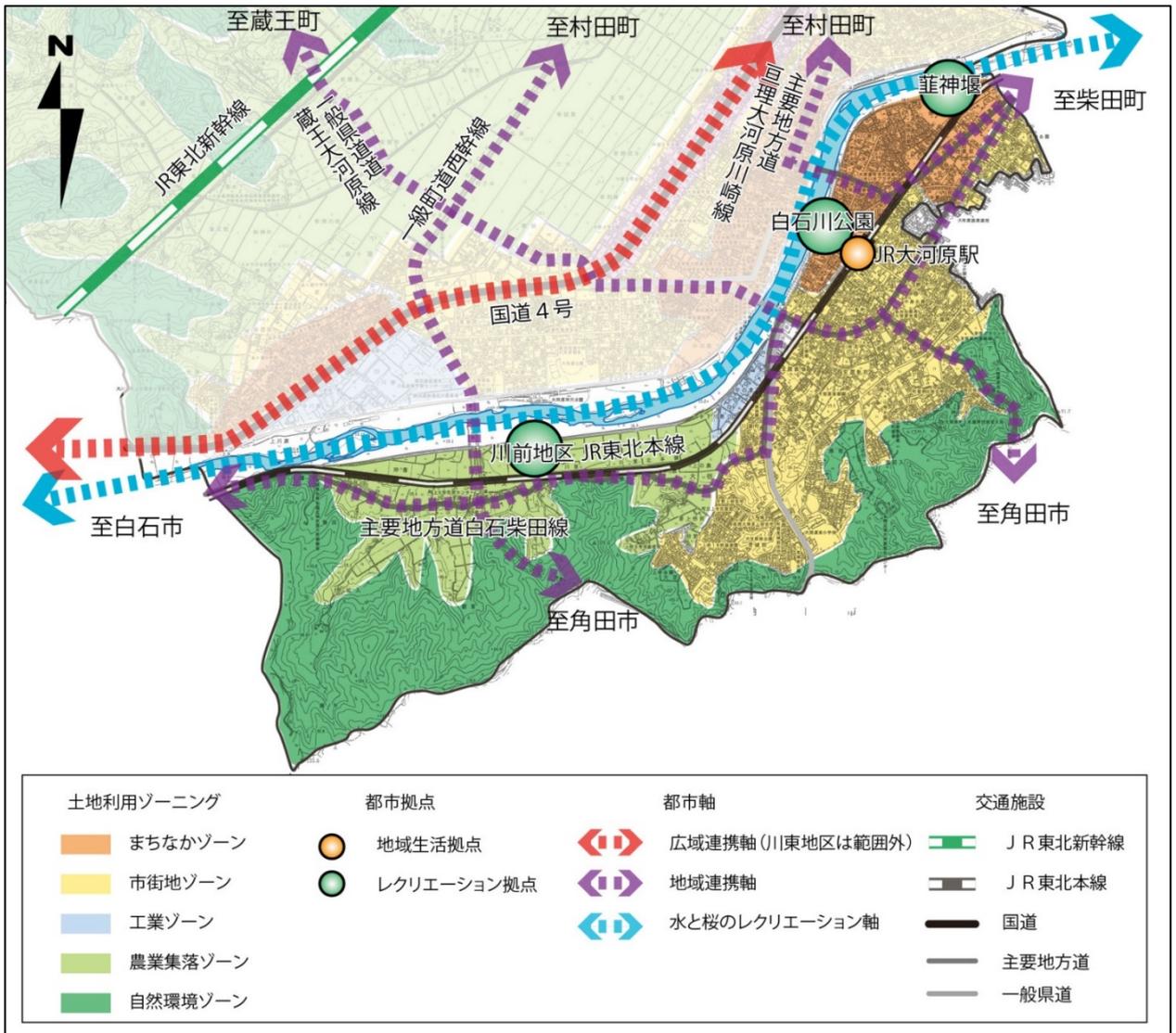
- ・計画段階からの住民参画推進や各種情報発信、勉強会開催によりまちづくりへの町民意識の向上を図ります。

## 3) 将来都市構造

表 7-6 川東地区の将来都市構造

〈土地利用ゾーニング〉	〈都市拠点〉
<p><b>①まちなかゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の用途地域内で、昭和30年以降に実施してきた土地区画整理事業によって整備されておらず、古くからの市街地を形成していた大河原駅周辺を「まちなかゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 川東地区の中心部として、大河原駅利用者が気軽に様々な場所に立ち寄ることができるコンパクトでにぎわいがある市街地を形成します。</li> </ul> <p><b>②市街地ゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の用途地域内で、昭和30年以降に実施してきた土地区画整理事業によって整備された場所や山間部付近の市街地を「市街地ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 都市基盤の機能を高め、居住環境の充実を図ります。</li> </ul>	<p><b>①地域生活拠点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大河原駅周辺を、各地域の日常生活を支える地域生活拠点として位置づけます。</li> <li>・ 地域に根ざした生活サービス機能や医療・福祉機能を集約するとともに、コミュニティ拠点としての活性化を目指します。</li> </ul>
<p><b>③工業ゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中の倉地区を「工業ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 既存の工場や企業のための都市基盤を維持します。</li> </ul>	<p><b>②レクリエーション拠点</b></p>
<p><b>④農業集落ゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用途地域外の低地を中心に農的土地利用が図られている場所を「農業集落ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 営農環境や集落の住環境を保全し、調和のとれた田園景観を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白石川沿いに位置する白石川河川公園、大河原公園および川前地区を「レクリエーション拠点」として位置づけます。</li> <li>・ 白石川河川公園については、既存の公園施設や植栽等の維持管理によりその魅力を保つとともに、魅力向上のための再整備を検討します。</li> </ul>
<p><b>⑤自然環境ゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用途地域外のうち、丘陵地を中心とした町外周を「自然環境ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 自然環境を保全するとともに、レクリエーション機能の強化を目指します。</li> </ul>	
<p><b>〈都市軸〉</b></p>	
<p><b>①地域連携軸</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本町を横断する白石川に跨り、本町と仙南地域の各市町を結ぶ、主要地方道蔵王大河原川崎線、白石柴田線、一級町道西幹線を「地域連携軸」として位置つけます。</li> <li>・ 既存道路や街路樹の適正な維持管理によりその機能を維持し、道路改良を促進することで、仙南広域圏における連携強化を目指すとともに、道路の必要性を再整理し、都市計画道路の見直しについて検討します。</li> </ul> <p><b>②水と桜のレクリエーション軸</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白石川を「水と桜のレクリエーション軸」として位置つけます。</li> <li>・ 歩行者路やサイクリングロードの整備及び強化を図るとともに、河川と一目千本桜を活用した景観形成を図ることで、レクリエーション拠点の繋がりを強化し、本町を象徴する白石川の連続した景観の魅力を強化します。</li> </ul>	

図 7-10 将来都市構造図（川東地区）



## (4) 都市づくりの方針（地域別構想）

## 1) 土地利用の方針

既存の土地利用や用途地域指定状況、各種法規制状況から、各ゾーンについて拠点となる場所とその他の場所におけるそれぞれの土地利用配置方針を整理します。

ゾーン・位置		土地利用配置方針
まちなかゾーン	地域生活拠点 (JR大河原駅 周辺)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生・高齢者等の公共交通利用者や川東地区居住者が利用する商業機能の誘導やコミュニティ施設の機能強化を図ります。</li> <li>既存の商店街においては、駅利用者向けの商業、飲食店舗の充実を目指します。</li> </ul>
	その他の場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>低・未利用地等や空き家の活用により、定住人口確保の受け皿となる住宅用地を確保します。</li> </ul>
市街地ゾーン		<ul style="list-style-type: none"> <li>低・未利用地等の活用により、定住人口確保の受け皿となる住宅用地を確保します。</li> </ul>
工業ゾーン	中の倉地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の工場、事業所を中心とした土地利用の維持を図ります。</li> </ul>
農業集落ゾーン	レクリエーション拠点 (川前地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーション拠点と一体となって地域農業の魅力を発信するとともに、河川と農村の一体的な景観を楽しむことができる交流機能を配置します。</li> </ul>
	その他の場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地集積による農業規模の拡大を推進します。</li> <li>農業集落の居住環境の維持・向上を図ります。</li> </ul>
自然環境ゾーン		<ul style="list-style-type: none"> <li>森林については、適切な保全を図ります。</li> <li>田園や里山景観を活かした空間づくりにより、レクリエーション機能を強化します。</li> </ul>
白石川	レクリエーション拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>白石川公園において、既存のレクリエーション機能の維持・強化を図ります。</li> <li>蔵王連峰への眺望が特に優れている葦神堰や、大規模な平場空間を確保可能な川前地区河川敷空間においては、レクリエーション空間の整備を検討します。</li> </ul>
	その他河川敷空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーション拠点間を繋ぐ歩行者・自転車の移動空間としての機能を高めます。</li> </ul>

## 2) 市街地整備および保全の方針

「まちなかゾーン」、「市街地ゾーン」、「工業ゾーン」および「農業集落ゾーン」の整備方針を整理します。

ゾーン・位置		土地利用配置方針
まちなかゾーン	地域生活拠点 (JR大河原駅 周辺)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR大河原駅前では、道路空間の修景整備を行うとともに、低・未利用地のにぎわい空間としての活用を検討します。</li> <li>・ 既存の商店街では、道路空間の修景整備を行うとともに、低・未利用地を活用し、にぎわい創出のための空間整備を行います。また、空地を活用した公園に代わる広場の整備を検討します。</li> <li>・ 駅前コミュニティセンター、世代交流いきいきプラザの周辺においては、利用者がアクセスしやすいよう道路環境の向上や周辺における駐車場の整備を検討します。</li> </ul>
	ゾーン全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭隘道路の改良や街路灯の設置を推進し、日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保します。</li> <li>・ 豪雨時に冠水する生活道路については、優先順位を定め冠水の解消に努めます。</li> </ul>
市街地ゾーン		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区画整理事業によって整備された住宅地や新興住宅地においては、整然とした住宅地環境維持のために、コミュニティによる植栽活動の促進を検討します。</li> <li>・ 土砂災害の危険性がある丘陵地の住宅については、災害時の安全対策を検討します。</li> </ul>
工業ゾーン	中の倉地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存の産業基盤を維持します。</li> </ul>
農業集落ゾーン		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営農環境や自然環境との調和に配慮した集落環境の維持・整備を図ります。</li> <li>・ 人口減少や高齢化の進展に配慮し、地域コミュニティの維持・向上に向けて集会所の適正な維持管理や周辺環境の整備を図ります。</li> </ul>

## 3) 交通施設の整備・保全および見直し方針

## ①主要幹線道路

- 概成済路線および未整備都市計画道路については、「都市計画道路見直しガイドライン（改定版）（平成30年3月宮城県土木部）」に基づき、見直しについて検討します。

## 〈該当する路線〉

主要地方道亘理大河原川崎線、主要地方道白石柴田線、一般県道蔵王大河原線、一級町道西幹線

路線名称		整備・保全および見直し方針	
地域連携軸	主要地方道亘理大河原川崎線	（都）末広線として都市計画決定している区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県や柴田町との連携を図りながら、沿道の土地利用を整理し、道路改良を実施可能な区間から段階的に概成済み都市計画道路の拡幅、末広橋の拡幅について検討します。</li> <li>JR東北本線との交差部分における道路構造については、高架化した場合と現況の踏切道で交通ネットワーク配分結果に大きく差異はなく、多大な事業費を要し住宅が連続して立地しているため事業の実現性が低いことから、道路構造の見直しを検討します。また、これに伴い現道への振り替えを含めた幅広い検討を進めます。</li> </ul>
		（都）大河原中央線として都市計画決定している区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の交通機能を維持します。</li> </ul>
	主要地方道白石柴田線		<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県と連携し、狭隘区間の道路改良を推進します。</li> <li>土砂災害警戒区域内に位置する区間については、道路管理者との協議を行いながら、迂回路の整備を検討します。</li> </ul>
	一級町道西幹線		<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の交通機能を維持します。</li> </ul>

## ②都市幹線道路

- 主要幹線道路の機能を補完し、本町内または隣接する市町村までの円滑な移動を支える道路を「都市幹線道路」と位置づけます。

## 〈該当する路線〉

一般県道大河原高倉線（主要地方道白石柴田線との重複区間は除く）、  
一般県道大河原停車場線

路線名称	整備・保全および見直し方針
一般県道大河原高倉線	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の交通機能を維持します。</li> </ul>
一般県道大河原停車場線	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の交通機能を維持します。</li> </ul>

## ③地域内幹線道路

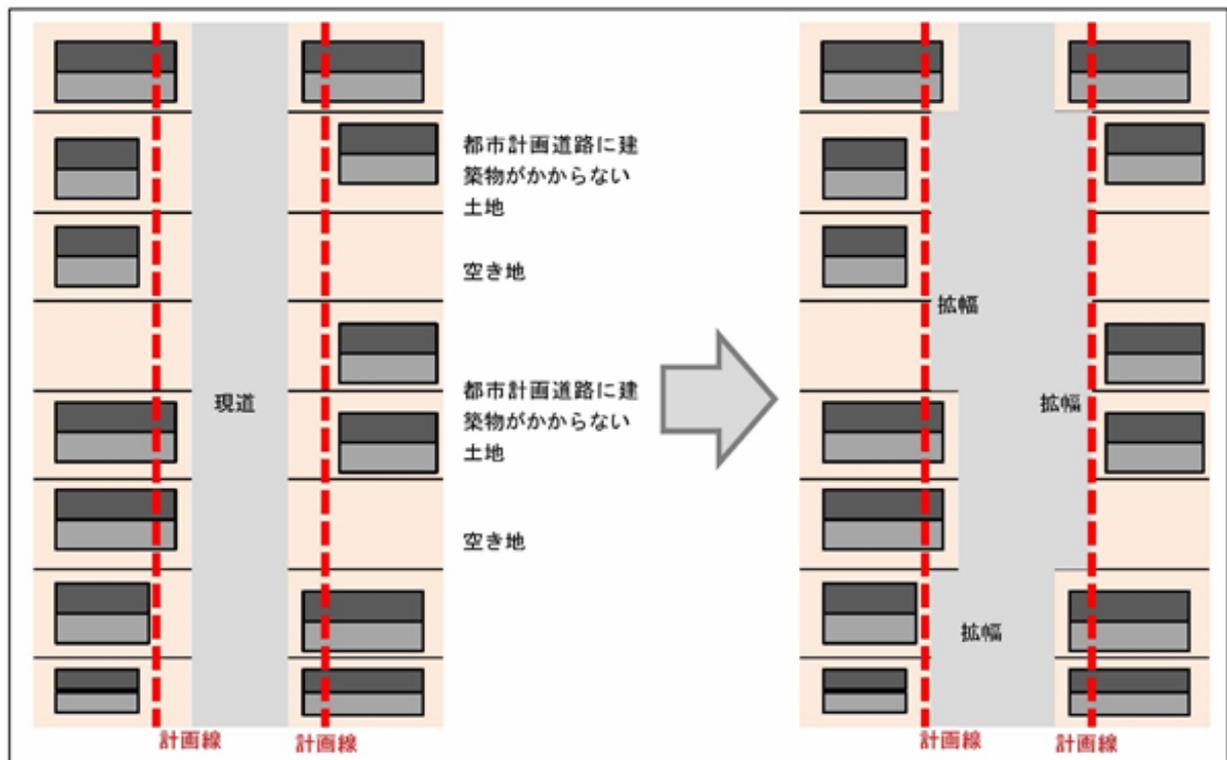
- ・都市幹線道路の機能を補完し、川東地区内の円滑な移動を支える道路を「地域内幹線道路」と位置づけます。
- ・概成済路線および未整備都市計画道路については、「都市計画道路見直しガイドライン（改定版）」に基づき、都市計画道路の廃止も含めた見直しについて検討します。

## 〈該当する路線〉

(都) 中島東線、(都) 東部線、(都) 大河原駅北線、(都) 大河原駅東線、(都) 尾形丁中央線、川前地区道路

路線名称	整備・保全および見直し方針
(都) 中島東線	・既存の交通機能を維持します。
(都) 東部線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備済区間については既存の交通機能を維持します。</li> <li>・基点である(都) 末広線から(都) 大河原中央線までの概成済区間については、他路線により交通需要が満たされていること、現在は住宅地内の区画道路として機能しておりそのための幅員は十分に確保されていること、本路線と連続する尾形丁中央線についても廃止に向けた検討を行うこととして都市計画決定当初に想定していた道路ネットワークを形成できないこと、沿道に住宅が連続して立地しており事業の実現性が低いことから、都市計画道路の廃止を含めた見直しを検討します。</li> <li>・本路線は柴田町の(都) 西住線と連続しており、廃止の検討は柴田町との連携を図りながら行います。</li> </ul>
(都) 大河原駅北線	・既存の交通機能を維持します。
(都) 大河原駅東線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備済み区間については既存の交通機能を維持します。</li> <li>・(都) 大河原中央線から終点までの概成済区間については、現在は住宅地内の区画道路として機能しており、幹線道路としての機能は近接する主要地方道互理大河原川崎線によって担保されていること、沿道に住宅が連続して立地しており事業の実現性が低いことから、都市計画道路の廃止を含めた見直しを検討します。</li> </ul>
(都) 尾形丁中央線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備済み区間については、既存の交通機能を維持します。</li> <li>・JR東北本線を横断する未整備区間については、他路線により交通需要が満たされていること、JR東北本線との交差により多大な事業費を有し、事業の実現性が低いことから都市計画道路の廃止を含めた見直しを検討します。</li> </ul>
川前地区道路（新規）	・川前地区においては、レクリエーション拠点までのアクセス性を向上させるため、新規道路を整備します。

図7-11 (都) 末広線の段階的な道路改良のイメージ



## ④生活道路

- ・まちなかゾーン、市街地ゾーン、農業集落ゾーンにおいて、生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備、降雨時冠水区間等の道路改良を推進し、日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保します。

路線名称	整備・保全および見直し方針
(都) 西原中央線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備済み区間については既存の交通機能を維持します。</li> <li>・未整備区間については交通量は少ないこと、ルート上に多くの支障物件が立地すること、既に市街地が形成されていることから都市計画道路として区画道路を整備する必要性は低いと考えられるため、都市計画道路の廃止を含めた見直しを検討します。</li> <li>・本路線は柴田町の(都)新西住線と連続しており、見直しの検討は柴田町との連携を図りながら行います。</li> <li>・本ルートにおいて、道路幅員の狭い区間や隅切が不足している区間については、課題箇所を整理し道路改良について検討します。</li> </ul>
(都) 中西線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備済み区間については既存の交通機能を維持します。</li> <li>・未整備区間については交通量が少ないこと、ルート上に多くの支障物件が立地すること、既に市街地が形成されていることから都市計画道路として区画道路を整備する必要性は低いと考えられるため、都市計画道路の廃止を含めた見直しを検討します。</li> <li>・本ルートにおいて、道路幅員の狭い区間や隅切が不足している区間については、課題箇所を整理し道路改良について検討します。</li> </ul>

## 〈鉄道〉

## ①鉄道交通

- ・関係機関と連携し、既存の交通機能の維持および利便性の向上について検討します。

## ②駅前広場

- ・駅西側については、既存の交通機能の維持および利便性の向上について検討します。
- ・駅東側については、駐車場および駐輪場として暫定利用を行っているところであり、必要性について整理し、駅前広場としてのあり方について検討を行います。

## 〈バス交通〉

- ・関係機関と連携し、大河原駅を中心とした路線バスルートを維持します。
- ・尾形丁1区、2区を除く広範囲において路線バス利用圏から大きく離れている本地域においては、交通を補助する機能として、既存のデマンド型乗合タクシーの機能強化について検討します。

#### 4) 公園緑地等の整備および保全の方針

##### ①都市公園

- ・公園が少ない上大谷区・上谷1～3区・原前区を中心に、空き地を活用した公共空地の確保を検討します。また、住民意向を踏まえた整備と適正な維持管理を図ります。
- ・公園が不足する地区において、その他公園や児童遊園の都市公園化を図り、施設整備や維持管理の推進を図ります。
- ・平成13年より「仙台吉野」という桜を植えており、他市町から人が訪れている大河原南公園では、新たな地域の魅力としてのPRの推進や維持管理・魅力向上のための整備を検討します。
- ・地域住民から魅力的な場であるという意見があった中島公園のグラウンド、不動公園、昆虫公園については、機能の維持および魅力向上のための整備について検討します。
- ・白石川公園については、住民意向調査結果に留意し、河川管理者との協議を行いながら機能強化と適正な維持管理を図ります。また、桜の時期以外でも魅力的な空間となるよう整備を検討するとともに、より多様なイベントの場としての活用を推進します。

##### ②白石川河川敷の有効活用

- ・白石側右岸（川前地区）においては住民意向を踏まえ河川敷をレクリエーション空間として整備します。また、住民意向を踏まえた整備と適正な維持管理を図ります。
- ・河川堤防天端や河川敷空間を活用し、白石川を縦断するサイクリングロード等の整備を検討します。
- ・白石川の水面と桜並木を前景とした景観が特徴的な葦神堰については、景観の魅力を高めるための空間整備を検討します。

##### ③河川と一体となった農業交流施設

- ・川前地区においては、白石川右岸河川敷整備と連携し、河川景観と田園景観が一体となった景観の魅力を活用した農業交流施設の整備を検討します。

##### ④森林の有効活用

- ・上大谷地区の農地や里山景観を活かした空間づくりを検討します。

## 5) 景観形成の方針

- ・全体構想および住民意向を踏まえ、景観形成の方針を整理します。
- ・住民意向では、白石川や一目千本桜、それを前景とした蔵王への眺望を大河原らしい景観として捉えていることがわかります。また、蔵王と田園による景観にも魅力を感じていることが分かります。
- ・大河原南公園においては、桜「仙台吉野」の植樹が行われ近年魅力向上が図られているほか、里山景観の魅力向上を求める住民意見が見られるなど、新たな魅力づくりが期待されます。

### ①蔵王連峰を背景にした景観の保全

- ・本町の至るところから見る事ができる蔵王連峰は、河川景観や市街地景観、田園景観と一体となり美しい景観を創り出しています。蔵王連峰への眺望景観を確保するために、建築物の高さは眺望を阻害しないよう配慮するとともに、街路樹や河川敷植栽についても視線を阻害しないよう適正な維持管理を推進します。

### ②河川景観

- ・白石川の水面と一目千本桜が一体となった河川景観は、本町のシンボルとして、広く町民にも愛されています。この景観を維持し、その魅力を高めるために河川空間の適正な維持管理を推進するとともに、特に魅力的な場所については景観整備を行います。
- ・白石川河川敷については、河川堤防天端や河川敷空間を活用したサイクリングロード等の整備と併せて、線的な景観づくりについても検討します。

### ③市街地・道路景観

- ・公共交通の中心となる大河原駅前においては、にぎわいの創出に配慮した景観づくりを進めるとともに、駅前コミュニティセンター、世代交流いきいきプラザをはじめとしたコミュニティ施設周辺の屋外空間についても景観整備を検討します。
- ・住宅地内においては、地域住民が実施している花いっぱい運動への支援を推進します。
- ・大河原南公園においては、桜「仙台吉野」を中心とした魅力的な景観づくりを推進します。
- ・魅力ある中島公園、昆虫公園においては、その景観を維持するとともに魅力向上のための整備を検討します。

### ④自然景観

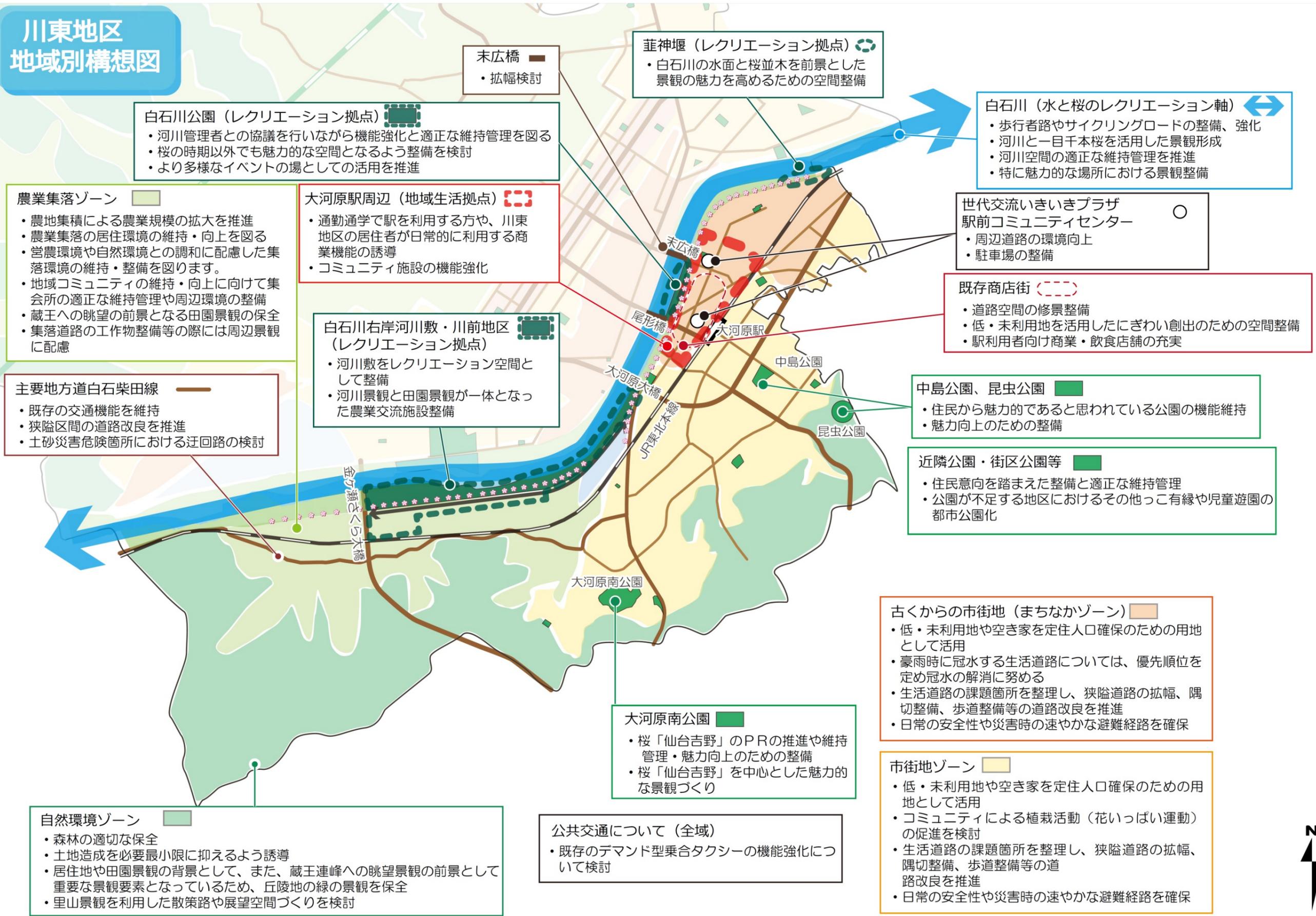
- ・白石川の流れにより形成された平野とそれを取り囲む南北の丘陵地による地形は、本町の景観を特徴付ける重要な要素となっているため、土地造成を必要最小限に抑えるよう誘導します。
- ・自然環境ゾーンは、居住地や田園景観の背景として、また、蔵王連峰への眺望景観の前景として重要な景観要素となっているため、丘陵地の緑の保全を図ります。
- ・里山景観の維持・魅力向上やそこを楽しむための散策路や眺望空間の整備を検討します。

### ⑤田園景観

- ・川前地区の水田は、白石川の水面や一目千本桜と共に美しい景観を形成しているため、稲作の維持を図りつつ、その魅力を活用したレクリエーション空間や施設の整備を進めます。



# 川東地区 地域別構想図



**白石川公園（レクリエーション拠点）**

- 河川管理者との協議を行いながら機能強化と適正な維持管理を図る
- 桜の時期以外でも魅力的な空間となるよう整備を検討
- より多様なイベントの場としての活用を推進

**未広橋**

- 拡幅検討

**葦神堰（レクリエーション拠点）**

- 白石川の水面と桜並木を前景とした景観の魅力を高めるための空間整備

**白石川（水と桜のレクリエーション軸）**

- 歩行者路やサイクリングロードの整備、強化
- 河川と一目千本桜を活用した景観形成
- 河川空間の適正な維持管理を推進
- 特に魅力的な場所における景観整備

**世代交流いきいきプラザ  
駅前コミュニティセンター**

- 周辺道路の環境向上
- 駐車場の整備

**既存商店街**

- 道路空間の修景整備
- 低・未利用地を活用したにぎわい創出のための空間整備
- 駅利用者向け商業・飲食店舗の充実

**中島公園、昆虫公園**

- 住民から魅力的であると思われる公園の機能維持
- 魅力向上のための整備

**近隣公園・街区公園等**

- 住民意向を踏まえた整備と適正な維持管理
- 公園が不足する地区におけるその他っこ有縁や児童遊園の都市公園化

**古くからの市街地（まちなかゾーン）**

- 低・未利用地や空き家を定住人口確保のための用地として活用
- 豪雨時に冠水する生活道路については、優先順位を定め冠水の解消に努める
- 生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備等の道路改良を推進
- 日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保

**市街地ゾーン**

- 低・未利用地や空き家を定住人口確保のための用地として活用
- コミュニティによる植栽活動（花いっぱい運動）の促進を検討
- 生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備等の道路改良を推進
- 日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保

**大河原駅周辺（地域生活拠点）**

- 通勤通学で駅を利用する方や、川東地区の居住者が日常的に利用する商業機能の誘導
- コミュニティ施設の機能強化

**白石川右岸河川敷・川前地区（レクリエーション拠点）**

- 河川敷をレクリエーション空間として整備
- 河川景観と田園景観が一体となった農業交流施設整備

**大河原南公園**

- 桜「仙台吉野」のPRの推進や維持管理・魅力向上のための整備
- 桜「仙台吉野」を中心とした魅力的な景観づくり

**公共交通について（全域）**

- 既存のデマンド型乗合タクシーの機能強化について検討

**農業集落ゾーン**

- 農地集積による農業規模の拡大を推進
- 農業集落の居住環境の維持・向上を図る
- 営農環境や自然環境との調和に配慮した集落環境の維持・整備を図ります。
- 地域コミュニティの維持・向上に向けて集会所の適正な維持管理や周辺環境の整備
- 蔵王への眺望の前景となる田園景観の保全
- 集落道路の工作物整備等の際には周辺景観に配慮

**主要地方道白石柴田線**

- 既存の交通機能を維持
- 狭隘区間の道路改良を推進
- 土砂災害危険箇所における迂回路の検討

**自然環境ゾーン**

- 森林の適切な保全
- 土地造成を必要最小限に抑えるよう誘導
- 居住地や田園景観の背景として、また、蔵王連峰への眺望景観の前景として重要な景観要素となっているため、丘陵地の緑の景観を保全
- 里山景観を利用した散策路や展望空間づくりを検討





3. 金ヶ瀬地区

(1) 地域の概要

金ヶ瀬地区は、本町の西側に位置し、用途地域と白地地域があります。

地域内には国道4号が通り、宮城県仙南運転免許センターなどが立地しています。

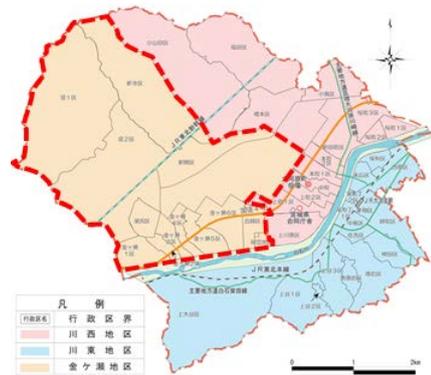
また、国道4号沿いの広表地区には大型商業店舗が多数立地しています。

表 7-7 人口・世帯数

行政区名	世帯数	人口
金ヶ瀬1	144	410
金ヶ瀬2	53	158
金ヶ瀬3	142	354
金ヶ瀬4	68	204
金ヶ瀬5	139	430
金ヶ瀬6	422	1,213
丑越	355	890
緑団地	41	84
湯尻	42	115
堤1	60	224
堤2	52	157
新開	34	103
新寺	46	143
合計	1,598	4,485

平成27年1月1日住民基本台帳

図 7-12 位置図



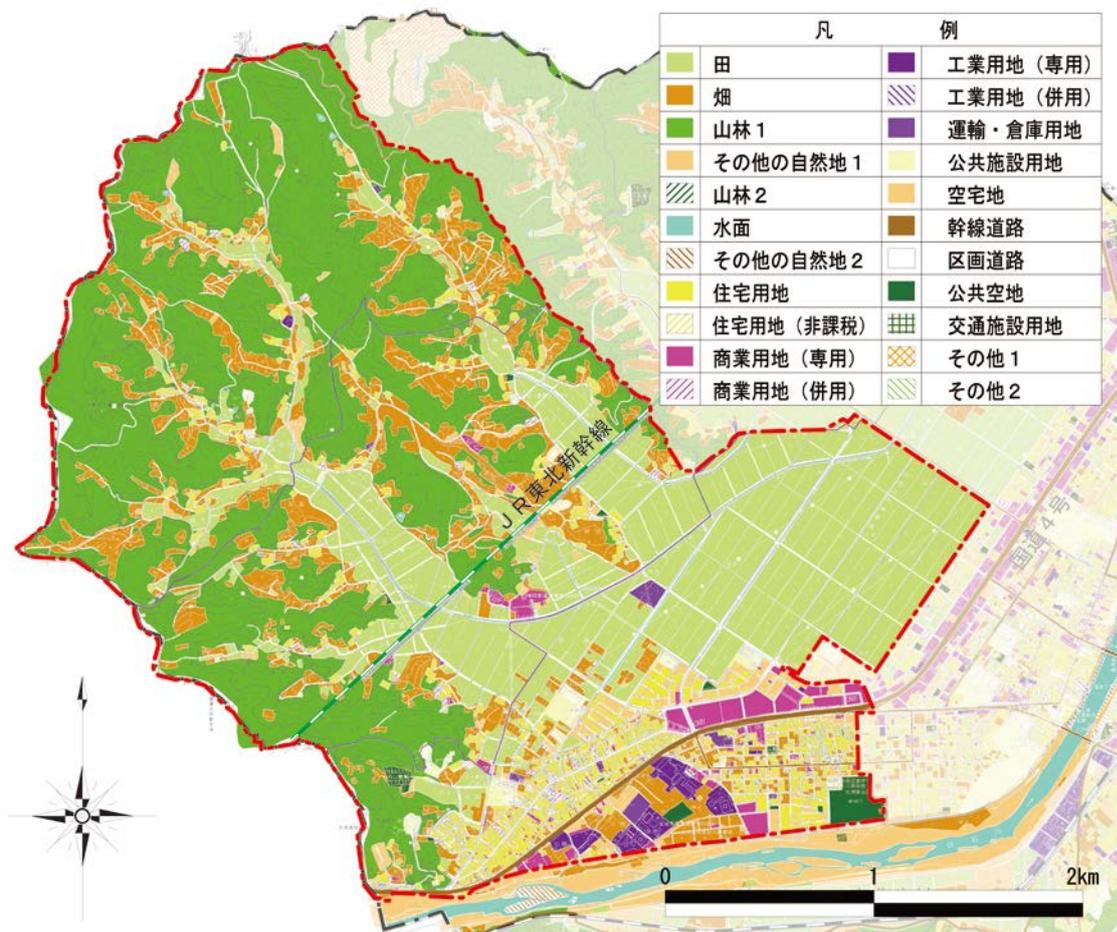
1) 人口

金ヶ瀬地区は、3つの地域区分の中で最も人口・世帯数が少ない地区です。

2) 土地利用

住宅用地は、国道4号付近と北側の山間部にみられます。地域の中央は農用地区域に指定され、良好な田園地域となっています。白石側沿いには、工業用地（金ヶ瀬川根工業団地）が分布しています。

図 7-13 土地利用現況図



出典：2010年度（平成22年度）県南部地区都市計画基礎調査（宮城県）

## 3) 住民意向

## ① 町民意向調査

町民意向調査から見た金ケ瀬地区居住者の主な意見について下に示します。

表 7-8 町民意向調査の概要

項目	結果概要
主に行っている場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤、通学は3割強が町内となり、町外が多い。</li> <li>・日用品の買い物は、地区内が6割以上と多くなっている。</li> <li>・洋服、家電、趣味等の買い物は、6割弱が町内となっており、4割強が地区内と多い。</li> <li>・休日のレクリエーションは町内が2割強と少なくなっている。</li> <li>・病院・医療は川西地区が3割弱、川東地区が1割強となるなど町内が7割と多くを占める。</li> <li>・教育・文化活動、習い事などは、町内が4割強と少ないが、その大部分は地区内となっている。</li> </ul>
普段の移動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地に関らず、自動車による移動が大部分を占めている</li> </ul>
鉄道利用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道駅を利用する人のうち大部分がJR大河原駅を利用している。</li> <li>・駅までの交通手段は自動車が7割強と大部分を占め、路線バスの利用はほとんど見られない。</li> <li>・駅までの所要時間は10分以内が5割以上、20分以内が9割以上を占める。</li> </ul>
デマンドタクシーについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回以上利用する人は5%弱と非常に少ない。</li> </ul>
地域のまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅地周辺に対しては、医療・福祉施設、安全性向上、空き地・空き家の解消、道路公園の維持管理・再整備、買い物環境充実の順になっているが、回答数に大幅な差異は見られない。</li> </ul>
今後の商業地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道4号沿いでの商業機能充実を求める意見が4割強と多く、次いで大河原駅前が3割弱となっている。</li> </ul>
今後の工業地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金ケ瀬川根工業団地への企業誘致を求める意見が約6割と多い。</li> </ul>
今後の農地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無秩序な開発は避けるべきだが、計画的な開発などで減少することはやむを得ないとする意見が6割弱と大部分を占めた。</li> </ul>
今後の山林のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無秩序な開発は避けるべきだが、計画的な開発などで減少することはやむを得ないとする意見が3割強を占めた。</li> <li>・遊歩道等レクリエーションの場の整備が3割弱と一定数見られた。</li> </ul>
町の拠点（中心地）の場所と機能について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大河原町役場、商店街およびその周辺と国道4号沿い（広表周辺）が3割強と多く、地区内で異なる考えを持つことがわかる。</li> <li>・拠点には、日常生活に必要な店舗・サービス機能の充実を求める人が4割弱、医療・福祉施設が3割弱とこの2つを求める意見が多く、飲食店等や趣味・文化活動の場としてのニーズは低かった。</li> </ul>
今後の道路整備や管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難路整備を求める意見が最も多く、街路灯、歩行者安全性、生活道路再整備へのニーズが高かった。</li> <li>・幹線道路の充実や街並み景観に対するニーズは低かった。</li> </ul>
居住地近隣の公園について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休憩施設の整備を求める意見が最も多く、次いで維持管理の充実、遊具の設置・充実へのニーズが高かった。</li> <li>・遊具や植栽充実へのニーズはあまり高くなかった。</li> </ul>
大河原らしさを感じる景観について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葦神堰、一目千本桜を前景とした蔵玉連峰への眺望を大河原らしい景観と考える人が8割以上と非常に多く、その他白石川に関連する景観を大河原らしいとする人が多かった。</li> <li>・大高山の桜や遊歩道の景観と答える人も2割程度見られた。</li> </ul>

## ②住民ワークショップ

のどかで住みやすく、大高山神社や梅団地、里山の風景が良いという意見がある一方で、道路の狭さや街路灯の少なさ、公共交通の不便さに対する意見が多く見られました。

## 〈住環境〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・閑静で災害が少なく穏やかな地区である</li> <li>・駐在所、郵便局(ATM)、小学校、保育園、集会所、バス停などが近くにあるので便利</li> <li>・菜の花、アジサイ、ひまわりなど花にあふれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金ヶ瀬小の裏道も街灯が少ない</li> <li>・堤地区は利便施設まで距離がある</li> <li>・地域内の10軒に1軒は空き家となっている</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<p>○子育て世代の定住促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で子育てする環境を充実させていく</li> <li>・地域と学校との連携を強める</li> </ul> <p>○空き家を活用した定住・観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルポートとして活用する</li> </ul>	<p>○コミュニティを活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベント会場として活用する</li> </ul> <p>○静かで住みやすく便利な住環境の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉施設を充実させ老後も暮らしやすくする</li> <li>・商店を維持して買い物の利便性を守る</li> <li>・せまい範囲でも回せるデマンドタクシーの運行</li> </ul>

## 〈交通・インフラ〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大高山神社の下の信号機の交差点は時々大きい事故がある</li> <li>・通学路の安全性が保たれていないので整備してほしい</li> <li>・側溝や道路の破損が目立つ</li> <li>・大雨の時道路が冠水する/排水が悪い通学路</li> <li>・神上沢の道路は広くしたのはよいが大雨のたびに路面がでこぼこになるので抜本的整備をしてほしい</li> <li>・小川を改修して(ヒューム管をつなげて)道を広げたところが大雨で氾濫してしまう</li> <li>・堤地区も下水道を整備してほしい</li> <li>・犯罪防止のためにも防犯灯がほしい</li> <li>・バスの本数が少ない/100円バスが欲しい</li> <li>・バスが通っていないので高齢者は大変</li> </ul>	
第2回WS結果(必要な取組み)	
<p>○安心安全な社会インフラの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の多い交差点の改良</li> <li>・通学路を踏まえた道路の安全性の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水性の悪い道路の改善</li> <li>・下水道の早期整備</li> <li>・街路灯・防犯灯の適切な設置</li> </ul>

## 〈公園・緑地〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大河原公園の桜がきれい</li> <li>・空気がゆったりしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園で子どもが遊んでいない</li> <li>・スポーツ施設(野球場など)が少ない</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<p>○公園・緑地の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子でゆっくりできる子どもの遊び場づくり</li> <li>・ドローンやラジコンも楽しめる公園・緑地にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園・緑地で遊びやすさのための利便性を高める</li> <li>・遊具などの適切な維持管理を行う</li> </ul>

## 〈大高山〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大高山神社裏手からの遊歩道が良い</li> <li>・大高山神社の祭りがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内看板が見えにくい</li> <li>・大高山神社の駐車場が足りない</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<b>○大高山を観光や居住魅力向上に活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な眺望場所に東屋や案内看板を整備する</li> <li>・サイクリングロードのコースに含める</li> </ul>	<b>○遊歩道の再整備・活用による居住魅力向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大高山～手倉森～堤地区～新寺地の遊歩道の整備</li> <li>・ルート案内など遊歩道をもっとアピールする</li> </ul>

## 〈観光・PR〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・金ヶ瀬小学校まわりの田園風景が良い</li> <li>・梅祭りがある / 大河原公園の桜がきれい</li> <li>・頼母山を望む風景が良い</li> <li>・温泉や大高山神社がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅ダナの道が地元でもよくわからない</li> <li>・大河原遊歩道が古くなって使えない</li> <li>・アピールポイントがあっても発信されていない</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<b>○田園風景や梅を観光や居住魅力向上に活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・梅のオーナー制度や農業体験を推進する</li> <li>・バス通りにラベンダーや芝桜を増やす</li> <li>・金ヶ瀬地区の名所をもっとPRする</li> <li>・桜だけでなく年中いろいろなイベントを実施</li> </ul> <b>○温泉を観光や居住魅力向上に活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉施設とのコラボで誘客する</li> </ul>	<b>○町・地域のPR・イベントの開催</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町全体をもっとPRすべき！</li> <li>・住みやすさをもっとアピール！</li> <li>・千本桜に行ったとわかるお土産を作る！</li> <li>・観光パンフレットを積極的にPR</li> </ul>

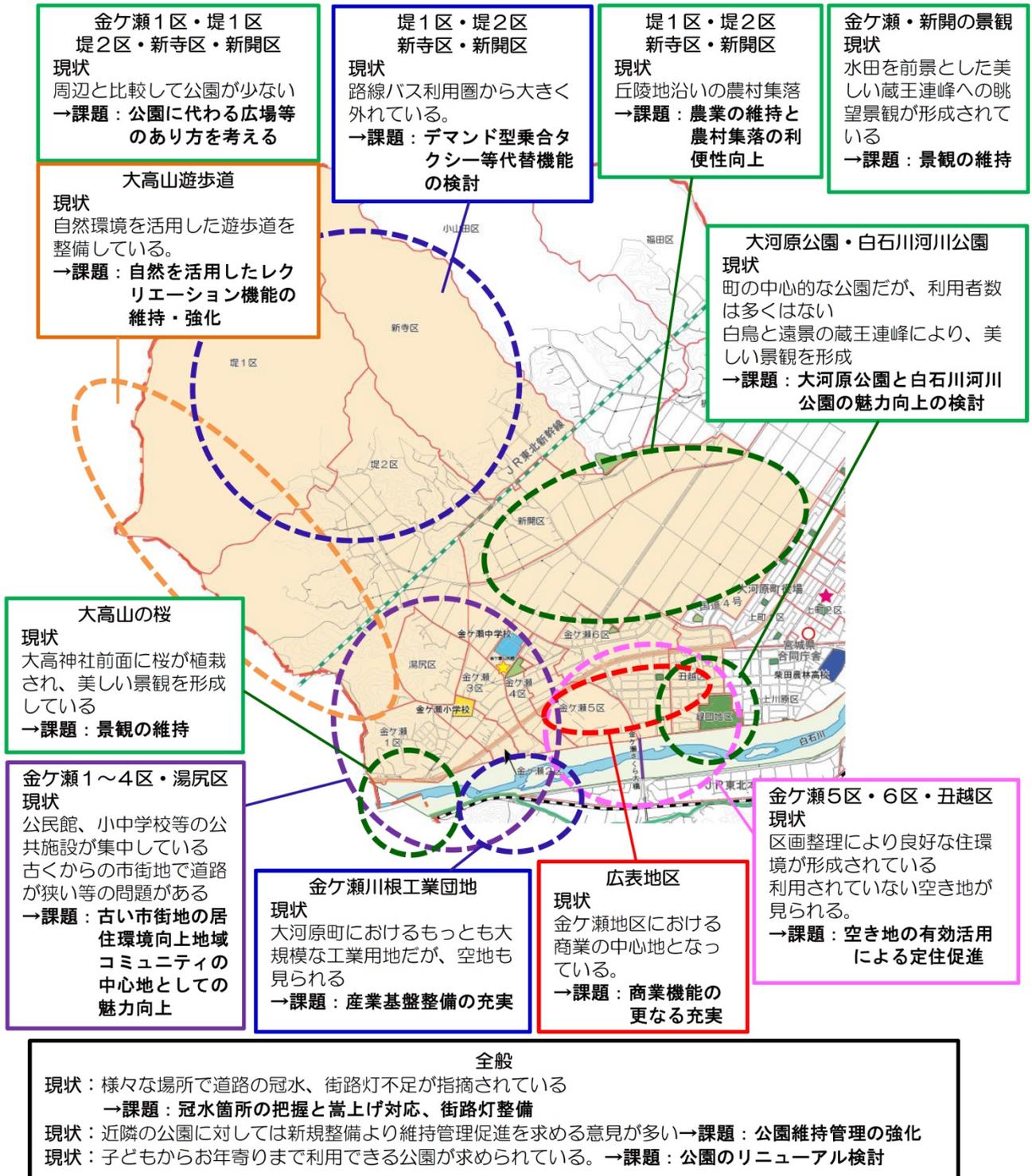
## 〈コミュニティ〉

第1回WS結果(地域の魅力と課題)	
地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅団地ではお花いっぱい運動をとおして親子のふれあいがある</li> <li>・近隣は幼少のころから顔なじみが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行きたくなるようなお茶会などの場所がない</li> <li>・人と人とのつながりが希薄になり、隣近所のお茶飲みもほとんどなくなった</li> </ul>
第2回WS結果(必要な取組み)	
<b>○コミュニティ力を活かしたまちづくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭りや花壇整備など地域活動を積極的に推進する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会活動をとおして若い世代のコミュニティ参加を促す</li> <li>・子どもも高齢者も立ち寄りやすい場所づくり</li> </ul>

(2) まちづくりの課題整理図

金ケ瀬地区の現状とまちづくりの課題について、下図のとおり整理しました。

図7-14 まちづくり課題図



### (3) 地域の目標像

#### 1) 地域の目標像

金ヶ瀬地区の現況と課題、住民ワークショップの結果から、金ヶ瀬地区のまちづくりに必要な「キーワード」を抽出し、「地域の目標像」を検討しました。

#### 〈キーワード〉

田園風景 大高山神社 遊歩道（友遊こみち） 公園が少ない 子どもが遊べる場所が少ない  
昔馴染みのコミュニティ 住みやすい 高齢化 公共交通 広表地区

#### 〈地域の目標像〉

**昔馴染みのコミュニティと新たな定住者が交流し、  
魅力ある自然や風景と便利が同居する  
和やかで暮らしやすいまち**

#### 2) まちづくりの目標

##### ①集約型都市（コンパクト＋ネットワーク）の核となる商業・コミュニティの中心づくり

- ・既存市街地内にある低・未利用地を有効活用するために、住居や生活サービス施設の立地を誘導し、市街地の拡大を極力抑えることで既存市街地が高密度となるよう誘導を図り、市街地の拡大を抑制します。
- ・金ヶ瀬地区内での生活を支え、コミュニティを育てる地域内生活拠点を形成します。

##### ②安全・安心で生活を楽しむことができる住環境づくり

- ・水害時避難場所、避難路、避難誘導施設（サイン等）の整備による水害時避難の円滑化を図ります。
- ・災害時に代替ルートとなる道路整備を検討し、幹線道路の強靱化を図ります。
- ・道路の拡幅、隅切確保、街路灯整備、歩道整備、路面表示整備等により生活道路の安全性を高めます。
- ・空き家の再利用や低・未利用地を活用し、居住魅力を高めます。
- ・都市公園、公共施設等への備蓄倉庫、防災トイレ等災害時に活用可能な施設の設置を進めます。
- ・コミュニティの活動を支える施設や充実した子育て環境の維持や利便性・魅力向上について検討します。

##### ③仙南地域の交通・商圈の中心拠点づくり

- ・大規模商業店舗が集積する国道4号沿道（広表）への更なる商業機能誘導を図ります。

##### ④地域の魅力や歴史を活かした産業や観光交流に資する都市づくり

- ・金ヶ瀬川根工業団地への、工場・事業所等の誘致に努めます。
- ・旧奥州街道沿いの名残を伝える歴史的建造物等の歴史資源の有効活用と街並みや大高山神社の桜を活用した景観づくりによる居住魅力向上と交流人口拡大、賑わい創出を図ります。
- ・大高山神社の桜、堤梅団地、新開地区からの蔵王への眺望、おおがわら天然温泉等の地域資源を繋ぐ里山ネットワークづくりにより居住魅力向上と交流人口拡大を図ります。

##### ⑤豊かな自然の恩恵を活かした都市づくり

- ・まとまった農地の維持や耕作放棄地の再利用推進による営農環境の保全を図ります。
- ・自然環境の保全や散策路の整備等により、丘陵地のレクリエーション機能の強化による魅力向上、大高山、堤梅団地、新開地区の田園等を繋ぐ里山散策ネットワークづくりに取り組みます。

##### ⑥情報共有・連携・役割分担の明確化による住民が主役のまちづくり

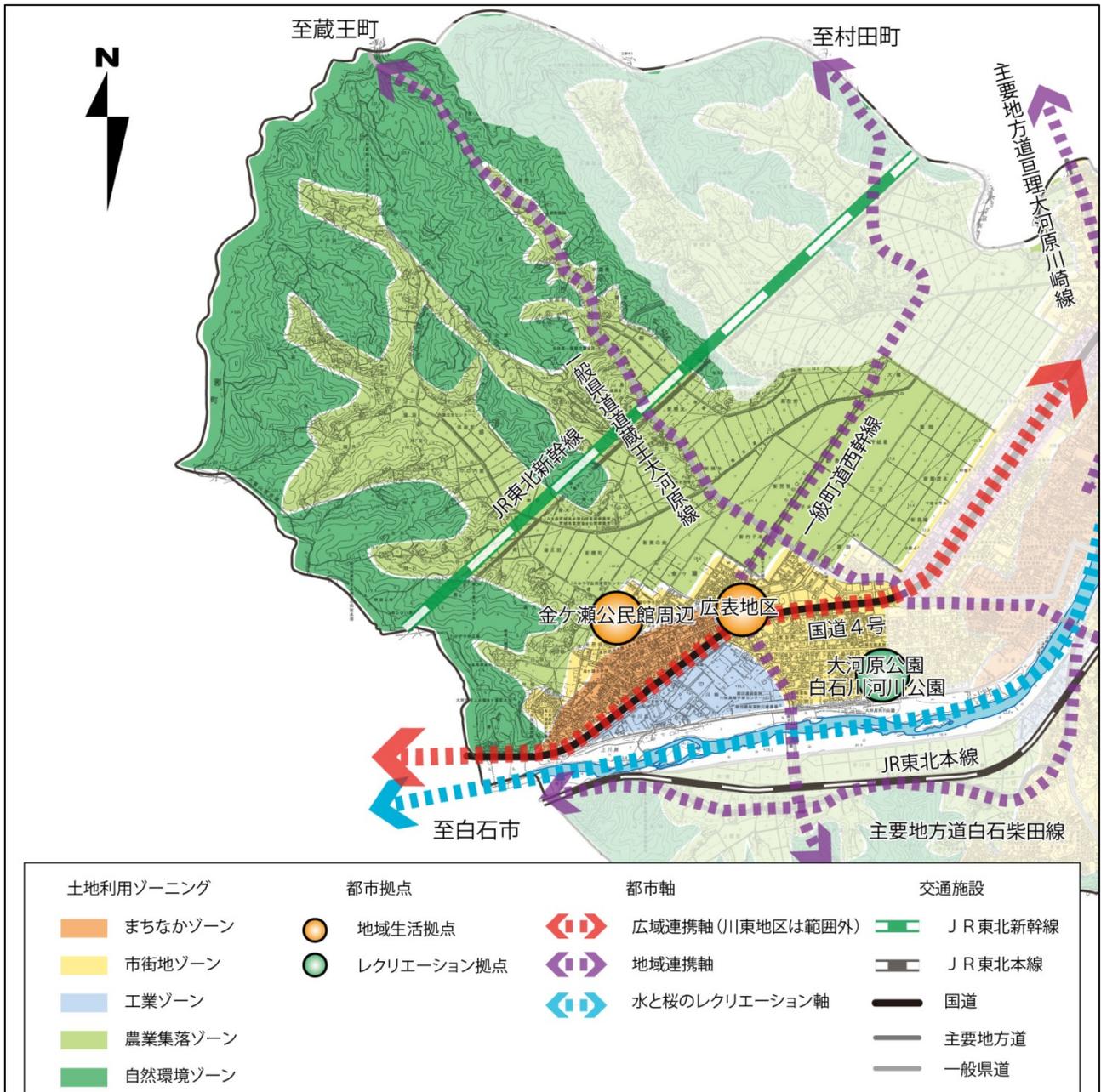
- ・計画段階からの住民参画推進や各種情報発信、勉強会開催によりまちづくりへの町民意識の向上を図ります。

3) 将来都市構造

表 7-9 将来都市構造

〈土地利用ゾーニング〉	〈都市拠点〉
<p><b>①まちなかゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の用途地域内で、昭和30年以降に実施してきた土地区画整理事業によって整備されておらず、古くからの市街地を形成していた場所を「まちなかゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 各地域の中心部として、コンパクトでにぎわいがある市街地を形成します。</li> </ul>	<p><b>①地域生活拠点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広表・金ヶ瀬公民館周辺を日常生活を支える地域生活拠点として位置づけます。</li> <li>・ 地域に根ざした生活サービス機能や医療・福祉機能を集約するとともに、コミュニティ拠点としての活性化を目指します。</li> </ul>
<p><b>②市街地ゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の用途地域内で、昭和30年以降に実施してきた土地区画整理事業によって整備された場所や山間部付近の市街地を「市街地ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 都市基盤の機能を高め、居住環境の充実を図ります。</li> </ul>	<p><b>②レクリエーション拠点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白石川河川公園および大河原公園を「レクリエーション拠点」として位置づけます。</li> <li>・ 既存の公園施設や植栽等の維持管理によりその魅力を保つとともに、魅力向上のための再整備を検討します。</li> </ul>
<p><b>③工業ゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金ヶ瀬川根工業団地を「工業ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 工場や企業のための都市基盤整備を維持します。</li> </ul>	
<p><b>④農業集落ゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用途地域外の低地を中心に農的土地利用が図られている場所を「農業集落ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 営農環境や集落の住環境を保全し、調和のとれた田園景観を目指します。</li> </ul>	
<p><b>⑤自然環境ゾーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用途地域外のうち、丘陵地を中心とした町外周を「自然環境ゾーン」として位置づけます。</li> <li>・ 自然環境を保全するとともに既存の遊歩道や里山景観を核としたレクリエーション機能の強化を目指します。</li> </ul>	
<p><b>〈都市軸〉</b></p>	
<p><b>①広域連携軸</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東地方と東北地方を結ぶ国道4号を、「広域連携軸」として位置づけます。</li> <li>・ 既存道路や街路樹の適正な維持管理により、その機能を維持します。</li> </ul>	
<p><b>②地域連携軸</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本町を横断する白石川に跨り、本町と仙南地域の各市町を結ぶ一般県道大河原蔵王線、一級町道西幹線を「地域連携軸」として位置づけます。</li> <li>・ 既存道路や街路樹の適正な維持管理により、その機能を維持します。</li> </ul>	
<p><b>③水と桜のレクリエーション軸</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白石川を「水と桜のレクリエーション軸」として位置づけます。</li> <li>・ 歩行者路やサイクリングロードの整備や強化を図るとともに、河川と一目千本桜を活用した景観形成を図ることで、レクリエーション拠点の繋がりを強化し、本町を象徴する白石川の連続した景観の魅力を強化します。</li> </ul>	

図7-15 将来都市構造図（金ヶ瀬地区）



## (4) 都市づくりの基本方針（地域別構想）

## 1) 土地利用の方針

既存の土地利用や用途地域指定状況、各種法規制状況から、各ゾーンをさらに分割し、それぞれの土地利用配置方針を整理します。

ゾーン・位置		土地利用配置方針
まちなかゾーン		・低・未利用地等の活用により、定住人口確保の受け皿となる住宅用地を確保します。
市街地ゾーン	地域生活拠点 (広表地区)	・生活利便施設の更なる集積を図ります。
	地域生活拠点 (金ヶ瀬公民館周辺)	・コミュニティ施設の機能強化を図ります。
	その他の市街地	・低・未利用地等の活用により、定住人口確保の受け皿となる住宅用地を確保します。
工業ゾーン	金ヶ瀬川根工業団地	・既存の工場、事業所を中心とした土地利用の維持を図ります。
農業集落ゾーン	その他の場所	・農地集積による農業規模の拡大を推進します。 ・農業集落の居住環境の維持・向上を図ります。
自然環境ゾーン		・森林については、適切な保全を図ります。 ・自然環境や里山を活用したレクリエーション機能を強化します。
白石川	レクリエーション拠点	・白石川河川敷の公園や隣接する大河原公園において、既存のレクリエーション機能の維持・強化を図ります。
	その他河川敷空間	・レクリエーション拠点間を繋ぐ歩行者・自転車の移動空間としての機能を高めます。

## 2) 市街地整備および保全の方針

「まちなかゾーン」、「市街地ゾーン」、「産業ゾーン」および「農業集落ゾーン」の整備方針を整理します。

ゾーン・位置		市街地整備方針
まちなかゾーン	ゾーン全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭隘道路の改良や街路灯の設置を推進し、日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保します。</li> <li>・豪雨時に冠水する生活道路については、優先順位を定め冠水の解消に努めます。</li> </ul>
市街地ゾーン	地域生活拠点 (広表地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種生活利便施設や金ヶ瀬公民館の周辺道路については、利用者がアクセスしやすいよう道路環境の向上や周辺における駐車場の整備を検討します。</li> </ul>
	地域生活拠点 (金ヶ瀬公民館周辺)	
	ゾーン全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区画整理事業によって整備された住宅地や新興住宅地においては、整然とした住宅地環境維持のために、コミュニティによる植栽活動の促進について検討します。</li> </ul>
工業ゾーン	金ヶ瀬川根工業団地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金ヶ瀬川根工業団地の未利用地の活用、既存工場エリアの環境保全を図ります。</li> </ul>
農業集落ゾーン	ゾーン全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営農環境や自然環境との調和に配慮した集落環境の維持・整備を図ります。</li> <li>・人口減少や高齢化の進展に配慮し、地域コミュニティの維持・向上に向けて集会所の適正な維持管理や周辺環境の整備を図ります。</li> </ul>

## 3) 交通施設の整備・保全および見直し方針

## ①主要幹線道路

- ・県内外または仙南広域圏を繋ぐ道路を「主要幹線道路」と位置づけます。
- ・概成済路線および未整備都市計画道路については、「都市計画道路見直しガイドライン（改定版）」に基づき、見直しについて検討します。

## 〈該当する路線〉

国道4号、一般県道蔵王大河原線、一級町道西幹線

路線名称		整備・保全および見直し方針
広域連携軸	国道4号	・国道4号を「広域幹線軸」と位置づけ、県内外との円滑な連絡を確保するために、既存の交通機能を維持します。
地域連携軸	一般県道蔵王大河原線	・既存の交通機能を維持するとともに、狭隘区間の拡幅整備を推進します。
	一級町道西幹線	・既存の交通機能を維持します。

## ②地域内幹線道路

- ・都市幹線道路の機能を補完し、金ヶ瀬地区内の円滑な移動を支える道路を「地域内幹線道路」と位置づけます。

## 〈該当する路線〉

(都) 東上線

路線名称	整備・保全および見直し方針
(都) 東上線	・既存の交通機能を維持します。

## ③生活道路

- ・まちなかゾーン、市街地ゾーン、農業集落ゾーンにおいて、生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備、降雨時冠水区間等の道路改良を推進し、日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保します。

## 〈バス交通〉

- ・関係機関と連携し、大河原駅を中心とした路線バスルートを維持します。
- ・路線バスルートから大きく離れている堤1区、2区、新寺区、新開区においては、交通を補助する機能として、既存のデマンド型乗合タクシーの機能強化について検討します。

#### 4) 公園緑地等の整備方針

##### ①都市公園

- ・都市公園およびそれに準ずる空間の合計値が都市公園法施行令第1条の2で規定されている「住民1人当たり10㎡以上」となるよう、公園整備を検討するとともに空き地を活用した公共空地となる空間の整備を検討します。また、住民意向を踏まえた整備と適正な維持管理を図ります。
- ・市街地の状況を考慮した都市計画公園配置の見直しを検討します。
- ・本町の中核的な公園である大河原公園については、住民意向調査結果に留意し、施設の再整備と適正な維持管理を図ります。また、安全な親水空間の整備を検討します。

##### ②森林の有効活用

- ・大高山神社を基点とする大高山遊歩道については、地域住民からの利用ニーズが高くなっていることから、散策路の適正な維持管理や機能強化、散策路としての魅力を高める整備について検討します。

## 5) 景観形成の方針→仙南広域景観計画との整合が必要

- ・全体構想および住民意向を踏まえ、景観形成の方針を整理します。
- ・住民意向では、白石川や一目千本桜、それを前景とした蔵王への眺望を大河原らしい景観として捉えていることがわかります。また、蔵王と田園による景観にも魅力を感じていることが分かります。
- ・住民ワークショップでは、大高山からスタートする遊歩道の魅力について多くの意見があり、これを踏まえて景観形成を図ります。

### ①蔵王連峰を背景にした景観の保全

- ・本町の至るところから見ることができる蔵王連峰は、河川景観や市街地景観、田園景観と一体となり美しい景観を創り出しています。蔵王連峰への眺望景観を確保するために、建築物の高さは眺望を阻害しないよう配慮するとともに、街路樹についても視線を阻害しないよう適正な維持管理を推進します。なお、金ヶ瀬川根工業団地については、建築物の高さへの配慮は企業立地を阻害する要因となることが想定されるため、高さの配慮とは異なる手法について検討します。

### ②河川景観

- ・白石川の水面と一目千本桜が一体となった河川景観は、本町のシンボルとして、広く町民にも愛されています。この景観を維持し、その魅力を高めるために、河川空間の適正な維持管理を推進するとともに特に魅力的な場所については景観整備を行います。

### ③歴史的景観

- ・旧奥州街道は、町の歴史を今に伝える重要な景観資源です。旧奥州街道が横断するまちなかゾーンにおいては、道路舗装や道路構造物等の改修にあたってはその歴史に配慮した景観整備を行うとともに、沿道建築物については景観に配慮したルール設定を検討します。
- ・大高山神社の斜面に植樹されている多くの桜は、金ヶ瀬地区においては重要な景観を形成しています。この景観を保全するために、この景観の魅力を損なわないよう、周辺における公共施設の改修時には景観に配慮します。

### ④市街地・道路景観

- ・金ヶ瀬公民館をはじめとしたコミュニティ施設周辺の屋外空間については、景観整備を検討します。
- ・国道4号をはじめとした幹線道路については、多くの町民が利用し町外からの来訪者の利用が見込まれることから、街路樹の適正な維持管理を進めるとともに、今後設置される屋外広告物のルール設定や分かりやすい案内標識の設置等により、魅力的な道路景観づくりを進めます。

### ⑤自然景観

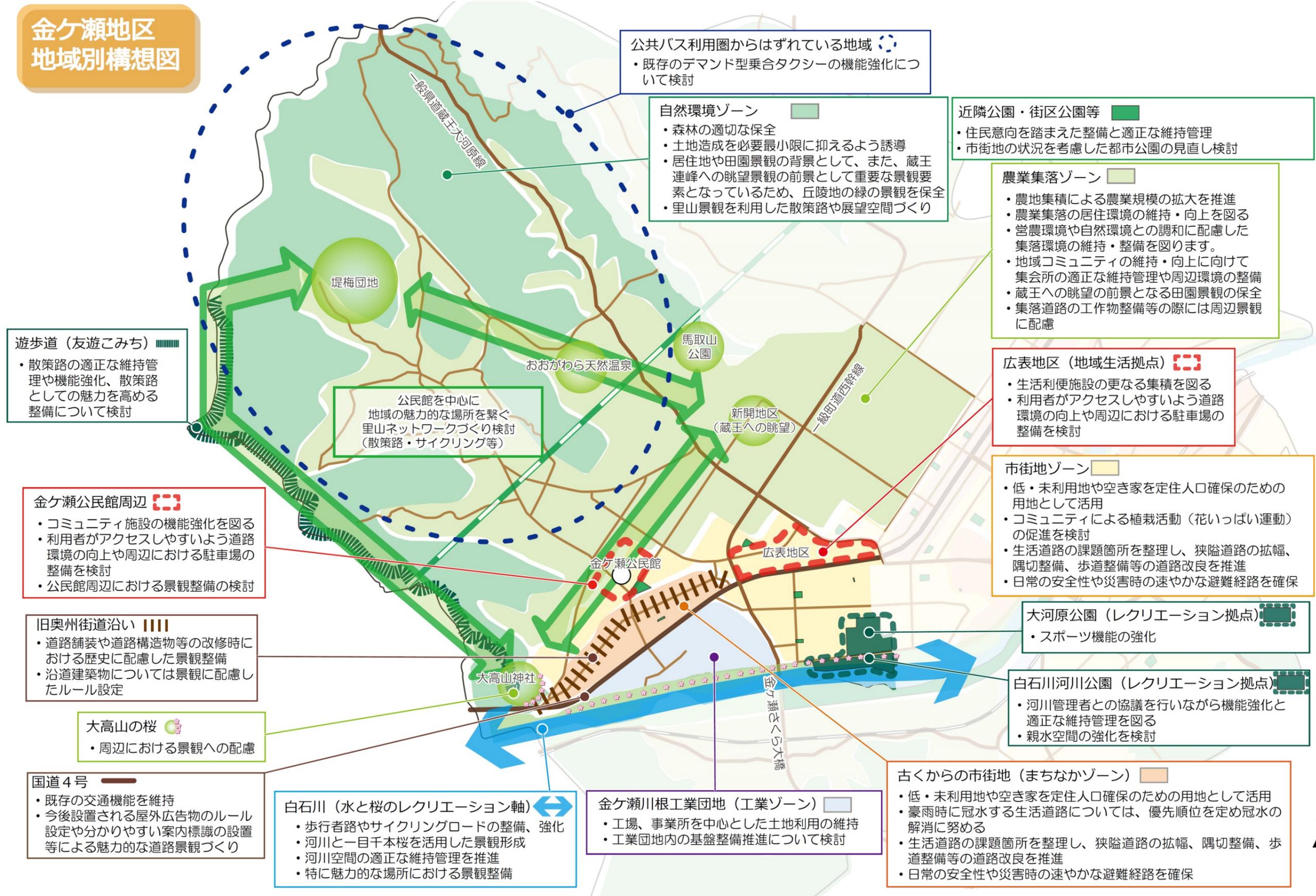
- ・白石川の流れにより形成された平野とそれを取り囲む南北の丘陵地による地形は、本町の景観を特徴付ける重要な要素となっているため、土地造成を必要最小限に抑えるよう誘導します。
- ・自然環境ゾーンは、居住地や田園景観の背景として、また、蔵王連峰への眺望景観の前景として重要な景観要素となっているため、丘陵地の緑の保全を図ります。
- ・コミュニティ活動の中心である金ヶ瀬公民館を中心に、金ヶ瀬地区の魅力的な景観資源である大高山、堤梅団地、新開地区から蔵王への眺望、馬取山公園等を繋ぐ散策路やサイクリングロード整備による里山ネットワークづくりを検討します。

### ⑥田園景観

- ・金ヶ瀬・新開地区の広がりのある水田は、背景となる緑や蔵王連峰と一体となった、美しい田園景観を形成していることから、稲作の維持を図るとともに、集落道路の工作物整備等の際には周辺景観に配慮します。



# 金ヶ瀬地区 地域別構想図



公共バス利用圏からはずれている地域

- 既存のデマンド型乗合タクシーの機能強化について検討

**自然環境ゾーン**

- 森林の適切な保全
- 土地造成を必要最小限に抑えるよう誘導
- 居住地や田園景観の背景として、また、蔵王連峰への眺望景観の前景として重要な景観要素となっているため、丘陵地の緑の景観を保全
- 里山景観を利用した散策路や展望空間づくり

**近隣公園・街区公園等**

- 住民意向を踏まえた整備と適正な維持管理
- 市街地の状況を考慮した都市公園の見直し検討

**農業集落ゾーン**

- 農地集積による農業規模の拡大を推進
- 農業集落の居住環境の維持・向上を図る
- 営農環境や自然環境との調和に配慮した集落環境の維持・整備を図ります。
- 地域コミュニティの維持・向上に向けて集会所の適正な維持管理や周辺環境の整備
- 蔵王への眺望の前景となる田園景観の保全
- 集落道路の工作物整備等の際には周辺景観に配慮

**広表地区(地域生活拠点)**

- 生活利便施設の更なる集積を図る
- 利用者がアクセスしやすいよう道路環境の向上や周辺における駐車場の整備を検討

**市街地ゾーン**

- 低・未利用地や空き家を定住人口確保のための用地として活用
- コミュニティによる植栽活動(花いっぱい運動)の促進を検討
- 生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備等の道路改良を推進
- 日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保

**大河原公園(レクリエーション拠点)**

- スポーツ機能の強化

**白石川河川公園(レクリエーション拠点)**

- 河川管理者との協議を行いながら機能強化と適正な維持管理を図る
- 親水空間の強化を検討

**古くからの市街地(まちなかゾーン)**

- 低・未利用地や空き家を定住人口確保のための用地として活用
- 豪雨時に冠水する生活道路については、優先順位を定め冠水の解消に努める
- 生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備等の道路改良を推進
- 日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保

**金ヶ瀬川根工業団地(工業ゾーン)**

- 工場、事業所を中心とした土地利用の維持
- 工業団地内の基盤整備推進について検討

**白石川(水と桜のレクリエーション軸)**

- 歩行者路やサイクリングロードの整備、強化
- 河川と一目千本桜を活用した景観形成
- 河川空間の適正な維持管理を推進
- 特に魅力的な場所における景観整備

**遊歩道(友遊こみち)**

- 散策路の適正な維持管理や機能強化、散策路としての魅力を高める整備について検討

公民館を中心に地域の魅力的な場所を繋ぐ里山ネットワークづくり検討(散策路・サイクリング等)

**金ヶ瀬公民館周辺**

- コミュニティ施設の機能強化を図る
- 利用者がアクセスしやすいよう道路環境の向上や周辺における駐車場の整備を検討
- 公民館周辺における景観整備の検討

**旧奥州街道沿い**

- 道路舗装や道路構造物等の改修時における歴史に配慮した景観整備
- 沿道建築物については景観に配慮したルール設定

**大高山の桜**

- 周辺における景観への配慮

**国道4号**

- 既存の交通機能を維持
- 今後設置される屋外広告物のルール設定や分かりやすい案内標識の設置等による魅力的な道路景観づくり



